

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第36週 >

百日咳の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同
時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-10

< RSウイルス感染症 >

第28週以降9週連続して増加が続いており、特に第36週は2,785
例と2週連続して急激な増加がみられている



病原体情報
P.11-12

手足口病患者から検出されているウイルス 2012年



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.13-18

米国で発生しているハンタウイルス肺症候群について / インフル
エンザ / コンゴ民主共和国でエボラ出血熱が発生しています / シ
エラレオネでコレラが流行しています



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(36週)
P.20-25



36週のデータ
P.26-38



発生動向総覧

< 第36週コメント > 9月12日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核404例

3類感染症

細菌性赤痢3例

菌種: *S. flexneri*(B群)2例__感染地域: インド2例

S. sonnei(D群)1例__感染地域: トルコ

腸管出血性大腸菌感染症124例(有症者88例、うちHUS 2例)

感染地域: 国内123例、国内/メキシコ1例

国内の多い感染地域: 宮城県9例、千葉県8例、福岡県7例、宮崎県7例、岩手県6例、愛知県6例、秋田県5例、大阪府5例、兵庫県5例、北海道4例、埼玉県4例、東京都4例、長野県4例、群馬県3例、神奈川県3例、三重県3例、長崎県3例

年齢群: 1歳(8例)、2歳(8例)、3歳(4例)、4歳(3例)、5歳(2例)、6歳(6例)、7歳(7例)、9歳(2例)、10代(14例)、20代(23例)、30代(15例)、40代(12例)、50代(8例)、60代(7例)、70代(5例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(34例)、O157 VT2(23例)、O26 VT1(15例)、O111 VT1(8例)、O121 VT2(6例)、O157 VT不明(6例)、O145 VT2(5例)、O111 VT1・VT2(3例)、O26 VT1・VT2(2例)、O26 VT不明(2例)、O103 VT1(2例)、O157 VT1(2例)、O55 VT1(1例)、O63 VT2(1例)、O111 VT不明(1例)、O115 VT1(1例)、O128 VT1(1例)、O145 VT1(1例)、O148 VT1(1例)、その他・不明(9例)

累積報告数: 2,576例(有症者1,599例、うちHUS 62例、死亡6例)

腸チフス3例

感染地域: 国内(都道府県不明)1例、インドネシア1例、インドネシア/中国1例

パラチフス1例

感染地域: インドネシア

4類感染症

E型肝炎2例

感染地域: 長野県1例__感染源: 不明

感染地域: 福岡県1例__感染源: 不明

A型肝炎1例 感染地域: 北海道
 デング熱12例(デング熱11例、デング出血熱1例)
 感染地域: フィリピン7例、カンボジア3例、インドネシア1例、タイ/
 カンボジア1例
 日本紅斑熱6例 感染地域: 鹿児島県2例、千葉県1例、兵庫県1例、広島県1例、宮
 崎県1例
 マラリア3例 三日熱1例__感染地域: インド
 熱帯熱1例__感染地域: ナイジェリア
 原虫種不明1例__感染地域: モザンビーク
 ライム病1例 感染地域: ドイツ
 レジオネラ症11例(肺炎型11例)
 感染地域: 埼玉県3例、秋田県1例、富山県1例、大阪府1例、兵庫
 県1例、鳥取県1例、岡山県1例(温泉) 国内(都道府
 県不明)2例
 年齢群: 50代(4例)、60代(2例)、70代(3例)、80代(2例)
 レプトスピラ症1例 感染地域: 大阪府__感染源: 不明

5類感染症

アメーバ赤痢15例(腸管アメーバ症15例)
 感染地域: 東京都6例、埼玉県1例、神奈川県1例、愛知県1例、大
 阪府1例、国内(都道府県不明)2例、米国(グアム)1例、
 タイ/マレーシア/シンガポール1例、国外(国不明)1例
 感染経路: 性的接触7例(異性間4例、異性間・同性間不明3例)
 経口感染3例、不明5例
 急性脳炎1例 インフルエンザウイルスA型__年齢群: 70代
 クロイツフェルト・ヤコブ病4例
 孤発性プリオン病古典型3例
 ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病1例
 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例
 年齢群: 50代
 後天性免疫不全症候群9例(AIDS 1例、無症候7例、その他1例)
 感染地域: 国内8例、国内・国外不明1例
 感染経路: 性的接触8例(同性間8例)、不明1例
 梅毒12例(早期顕症I期3例、早期顕症II期6例、無症候3例)
 破傷風3例 年齢群: 50代(1例)、80代(1例)、90代(1例)
 バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例
 遺伝子型: 不明2例__菌検出検体: 尿2例
 風しん72例(検査診断例51例、臨床診断例21例)
 感染地域: 東京都18例、大阪府11例、兵庫県7例、神奈川県5例、
 三重県5例、千葉県3例、福岡県2例、埼玉県1例、山口
 県1例、高知県1例、国内(都道府県不明)18例
 年齢群: 1歳(1例)、2歳(1例)、4歳(1例)、10~14歳(1例)、15~
 19歳(7例)、20~24歳(10例)、25~29歳(13例)、30~34
 歳(7例)、35~39歳(11例)、40代(17例)、50代(3例)
 累積報告数: 1,521例(検査診断例1,125例、臨床診断例396例)

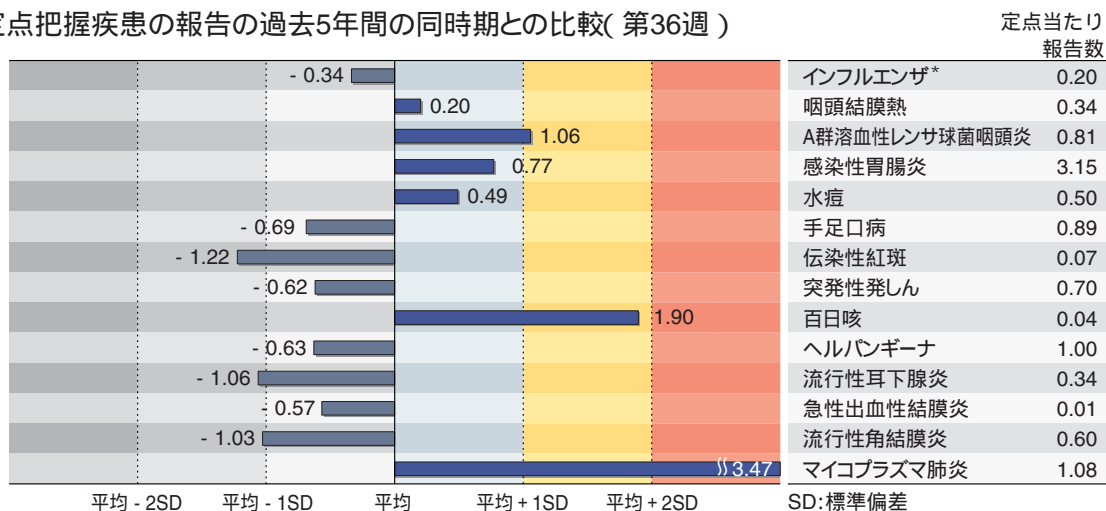
麻しん12例〔麻しん(検査診断例2例、臨床診断例5例)、修飾麻しん(検査診断例5例)〕
 感染地域：神奈川県3例、東京都2例、宮崎県2例、新潟県1例、国内(都道府県不明)4例
 年齢群：2歳(2例)、3歳(1例)、10～14歳(1例)、20～24歳(3例)、25～29歳(2例)、30～34歳(1例)、40代(2例)
 累積報告数：251例〔麻しん(検査診断例131例、臨床診断例62例)、修飾麻しん(検査診断例58例)〕
 遺伝子型別累積報告数(遺伝子型が同定・報告された症例のみ)：56例
 D4：6例__感染地域：東京都2例、千葉県1例、東京都/ベトナム1例、大阪府/英国1例、パキスタン1例
 D8：37例__感染地域：愛知県19例、千葉県5例、岐阜県3例、山梨県2例、都道府県不明6例、タイ1例、タイ/カンボジア1例
 D9：8例__感染地域：岡山県4例、栃木県1例、千葉県1例、東京都1例、フィリピン1例
 H1：5例__感染地域：福島県4例、台湾1例

(補) 2012年第35週までに診断されたものの報告遅れとして、パラチフス1例(感染地域：神奈川県)、E型肝炎1例(感染地域：北海道__感染源：豚ホルモン)、エキノコックス症2例(多包条虫2例__感染地域：北海道2例)、デング熱2例(感染地域：カンボジア1例、ジャマイカ1例)、日本紅斑熱1例(感染地域：高知県)、レプトスピラ症1例(感染地域：ベトナム__感染機会：川/宿のネズミ)、急性脳炎5例〔アデノウイルス2型1例__年齢群：1歳、ヘルペスウイルス1例__年齢群：20代、水痘・帯状疱疹ウイルス1例__年齢群：80代、病原体不明2例__年齢群：0歳(2例)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例〔60代(1例)、70代(1例)、80代(1例、死亡)〕、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型：VanB__菌検出検体：尿) などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第36週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(11.88)、鹿児島県(1.40)、福島県(0.16)、長崎県(0.14)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は2,785例と第28週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山形県(1.03)、宮崎県(0.86)、熊本県(0.79)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では山口県(1.71)、富山県(1.62)、宮崎県(1.50)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では大分県(6.8)、島根県(5.7)、熊本県(4.8)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(1.25)、広島県(1.10)、徳島県(1.04)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では岩手県(4.65)、宮城県(4.34)、青森県(4.29)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では徳島県(0.30)、高知県(0.30)、愛媛県(0.27)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では高知県(0.27)、福岡県(0.11)、岩手県(0.10)、群馬県(0.10)が多い。

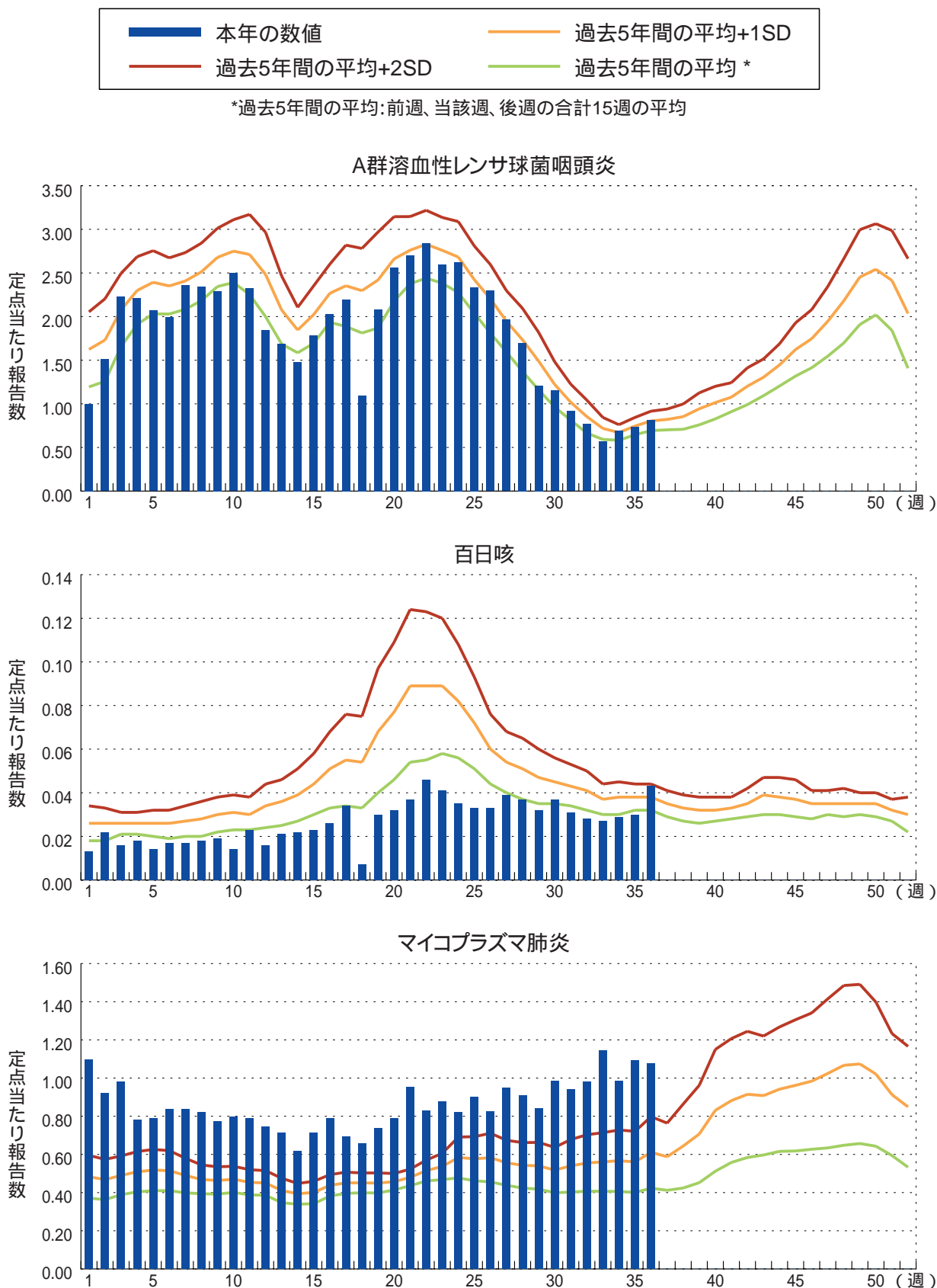
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では山形県(3.73)、新潟県(3.50)、青森県(3.07)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では大分県(1.22)、岩手県(1.08)、岐阜県(0.83)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では栃木県(6.57)、群馬県(3.63)、福島県(3.29)、愛知県(3.21)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2012年第36週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症(respiratory syncytial virus infection)は、病原体であるRSウイルスが伝播することによって発生する呼吸器感染症である。年齢を問わず、生涯にわたり顕性感染を繰り返す、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスの初感染を受けるとされている。乳幼児期においては非常に重要な疾患であり、特に生後数週間～数カ月間の時期においては母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こす。

潜伏期間は2～8日、典型的には4～6日とされている。発熱、鼻汁などの上気道炎症状が数日間続き、その後下気道症状が出現してくる。咳嗽、鼻汁などの上気道症状が2～3日続いた後、感染が下気道、とくに細気管支に及んだ場合には特徴的な病型である細気管支炎となる。細気管支炎例では、炎症性浮腫と分泌物、脱落上皮により細気管支が狭くなるに従って、呼気性喘鳴、多呼吸、陥没呼吸などを呈するようになる。喀痰の貯留により無気肺を起こすことも珍しくない。心肺に基礎疾患を有する児においては、しばしば遷延化、重症化する。発熱は初期症状として普通に見られるが、呼吸状態の悪化により入院が必要となった際には体温は38 以下になるか、あるいは平熱となっている場合が多い。RSウイルス感染症は、乳幼児の肺炎の原因の約50%、細気管支炎の50～90%を占めるとの報告もある。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、临床上、公衆衛生上のインパクトは大きい。重篤な合併症として注意すべきものには無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳症等がある(IASR 2008年10月号 <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/29/344/tpc344-j.html> 参照)。

RSウイルスの主な感染経路は飛沫感染と接触感染であるが、感染力が強く、また生涯にわたって何度も顕性感染を繰り返すといわれている。年長者の再感染例等では典型的な症状を呈さずにRSウイルス感染と気付かれない軽症例も多数存在することから、家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行を効果的に抑制することは困難である場合が多い。

RSウイルス感染症の発生動向については、感染症法改正(2003年11月5日施行)により対象疾患となり、全国約3,000の小児科定点医療機関から毎週報告がなされている。診断は臨床症状のみでは不可能であることから、届出基準としてウイルスの分離・同定、迅速診断キットによる抗原検出、血清抗体検出(中和反応または補体結合反応)による病原検査が必須とされている。臨床現場で最も簡便な迅速診断キット検査については、医療保険適用として入院例のみが対象であったが、2011年10月より従来の入院例に加えて乳児およびパリビズマブ製剤¹の適応となる患者²に対しても適用されることとなり(厚生労働省ホームページ <http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T111019S0010.pdf> 参照)、現在は外来診療の場においても活用されていることと推察される。

RSウイルス感染症の小児科定点医療機関からの報告数は、例年冬期にピークが見られ、夏期は報告数が少ない状態が継続していたが、2011年、2012年と2年連続して7月頃から増加傾向がみられている。2012年の報告数は第28週以降9週連続して増加が続いており、特に第36週の報告数は2,785例と2週連続して急激な増加(第34週1,164例、第35週1,998例)がみられている(図1)。都道府県別の報告数をみると、福岡県(479)、東京都(317)、宮崎県(285)、大阪府(174)、鹿児島県(109)、山口県(104)、広島県(103)、埼玉県(100)の順となっている。39都府県で前週の報告数より増加が認められており、宮崎県、大阪府、東京都で大きな増加がみられている(図2)。

図1. RSウイルス感染症の年別・週別発生状況(2003年第45週 ~ 2012年第36週)

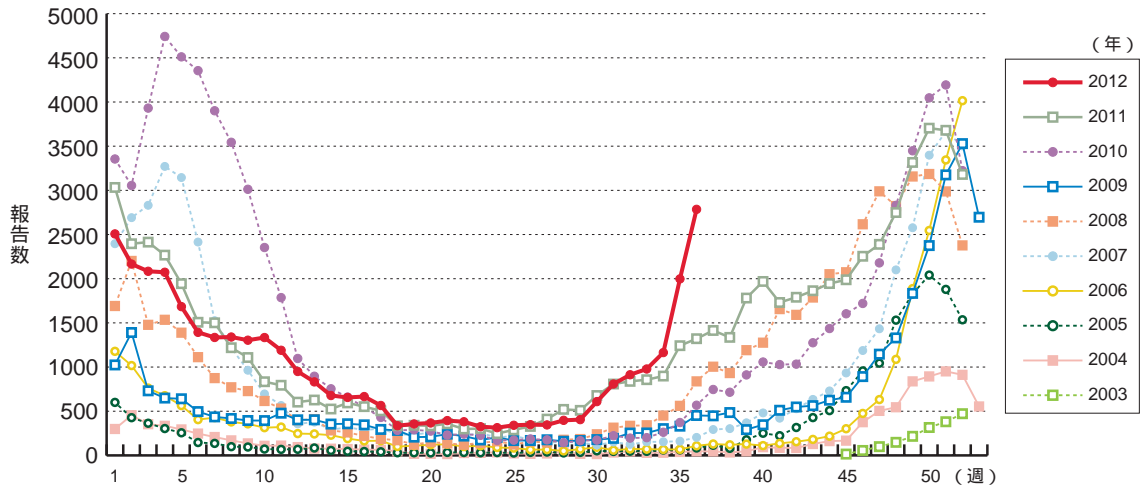
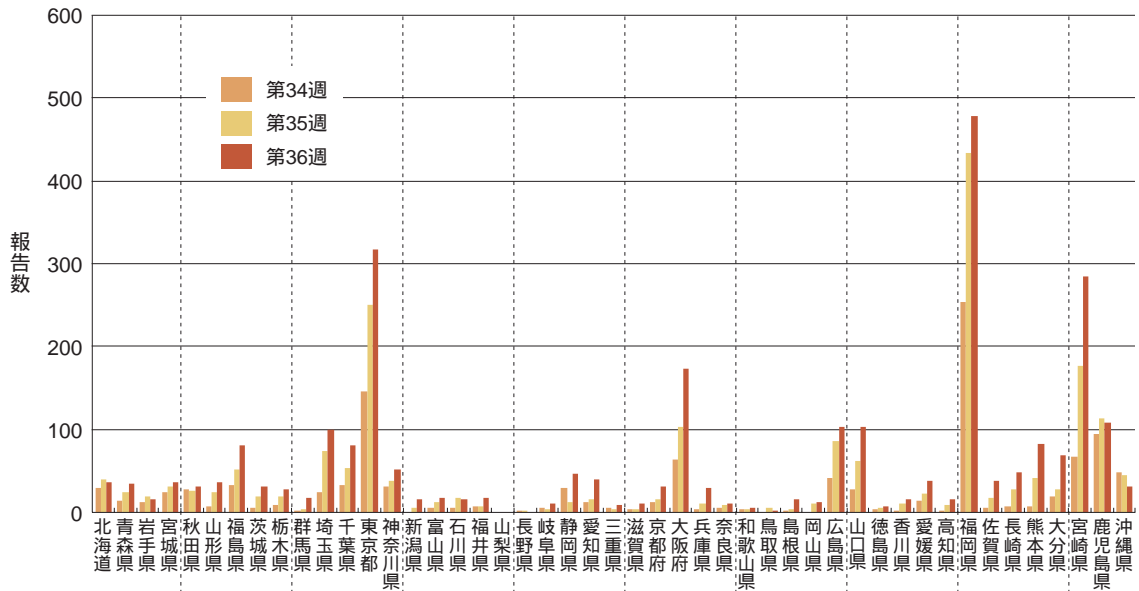


図2. RSウイルス感染症の都道府県別報告数の推移(2012年第34 ~ 36週)



2012年第1～36週の累積報告数(36,589)の年齢群別割合をみると、0歳44.6%(0～5カ月19.8%、6～11カ月24.8%)、1歳33.1%、2歳12.2%、3歳5.8%、4歳2.4%の順であり、0歳の報告割合が最多を占め、次いで1歳、2歳と年齢順であり、1歳以下で全報告数の約70%以上を、3歳以下で全報告数の90%以上を占めているのは、2004年以降変わりはなく(図3)。一方、今夏の報告数の増加が始まった第28週以降の9週間では、累積報告数10,206例中0歳からの報告割合が38.1%(0～5カ月15.4%、6～11カ月22.7%)、1歳からの報告割合が39.4%、2歳13.7%であり、1歳の報告が最多を占めている(図4)。

図3. RSウイルス感染症の年別・年齢群別割合(2004年～2012年第36週)

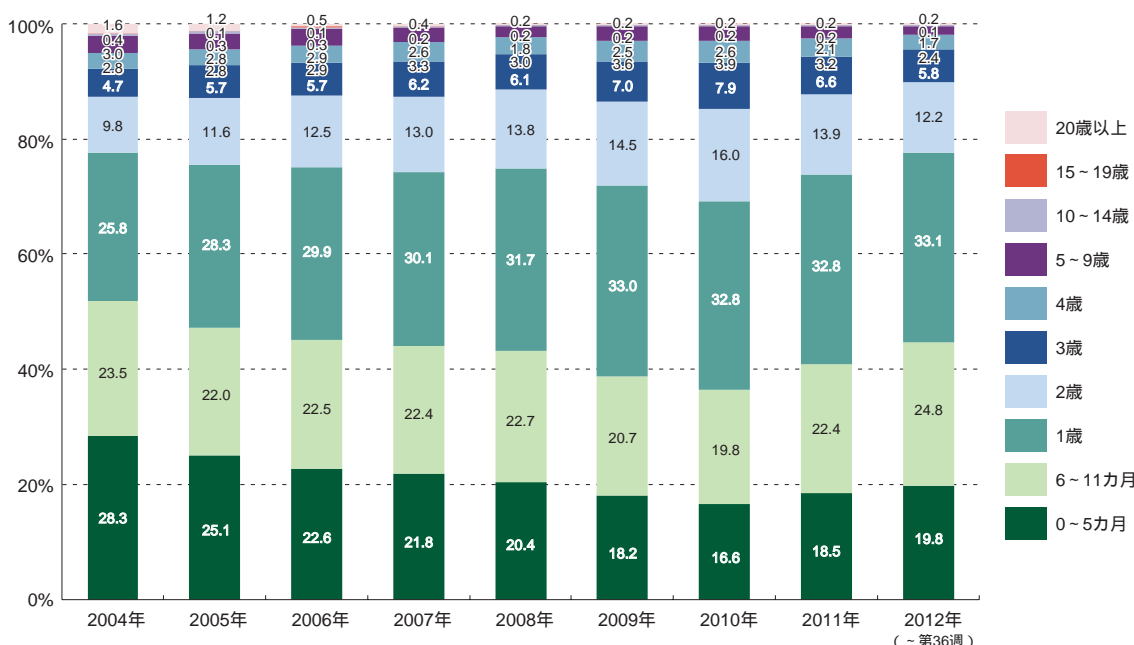
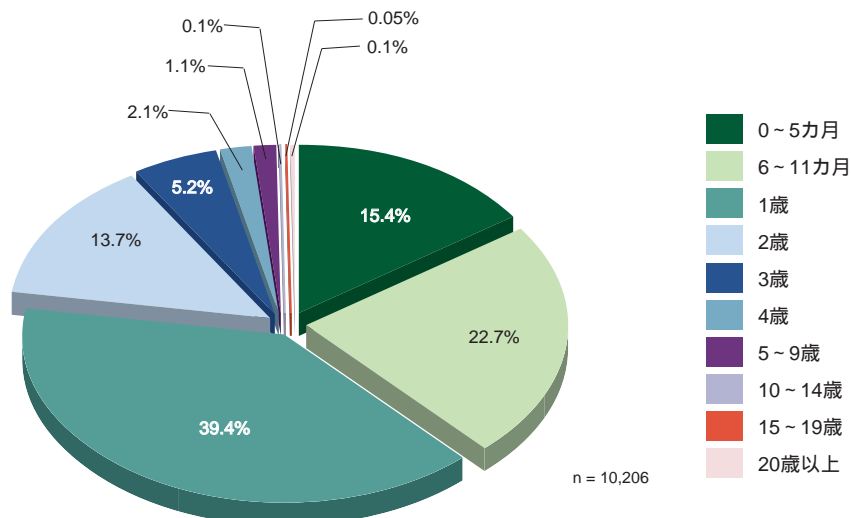


図4. RSウイルス感染症累積報告数の年齢群別割合(2012年第28～36週)



感染症発生動向調査からは、RSウイルス感染症の流行の立ち上がりが近年早まってきているものと推察される。2012年の報告数は、第31週以降はこれまでで最も立ち上がりがあった2011年の報告数をも上回っており、特に第35週以降は急激な増加を示している。RSウイルス感染症は、その重篤性や合併症から特に乳幼児において臨床的および公衆衛生的にインパクトの大きな感染症であり、今後の同疾患の報告数の推移についてはより一層の注意が必要である。

1. パリビズマブ製剤：RSウイルスの感染予防、感染発症後の重症化予防に用いられる遺伝子組み換え抗RSウイルス抗体
2. パリビズマブ製剤の適応となる患者：
 - ・ 在胎期間28週以下の早産で、12カ月齢以下の新生児及び乳児
 - ・ 在胎期間29～35週の早産で、6カ月齢以下の新生児及び乳児
 - ・ 過去6カ月以内に気管支肺異形成症の治療を受けた24カ月齢以下の新生児、乳児及び幼児
 - ・ 24カ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患の新生児、乳児及び幼児



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

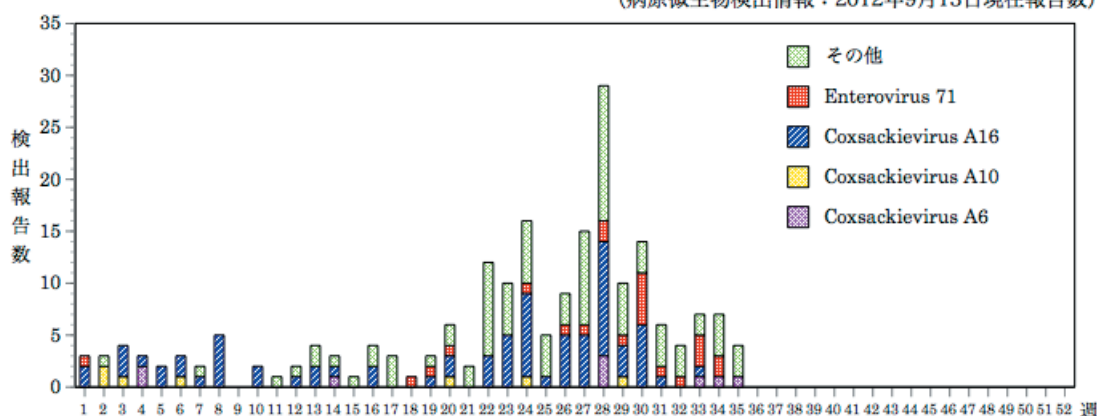
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2012年9月13日現在報告分)

手足口病患者から検出されているウイルス 2012年

週別手足口病患者からのウイルス分離・検出報告数、2012年

(病原微生物検出情報：2012年9月13日現在報告数)



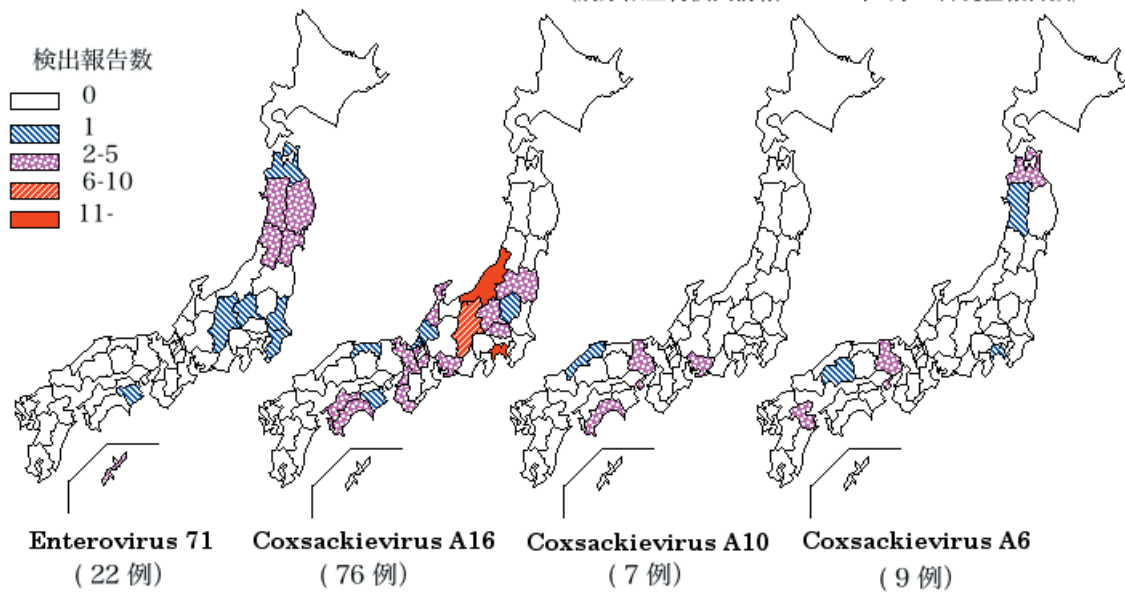
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



エンテロウイルス71型(EV71)の報告は第1 ~ 24週には5件と少なかったが、第26 ~ 34週には毎週報告が続き、やや増加している。第1 ~ 34週に11県から22件が報告されている。コクサッキーウイルス(CA)16型は第1 ~ 33週に18府県から76件報告されている。CA10の報告は第2 ~ 29週に4県から7件のみである。2011年に増加したCA6の報告は第4 ~ 35週に6県から9件のみである。その他にはライノウイルス24件、エンテロウイルス型不明13件、CA9が8件などが報告されている。

都道府県別手足口病患者からのエンテロウイルス71型、コクサッキーウイルスA16型、コクサッキーウイルスA10型、コクサッキーウイルスA6型分離・検出報告状況、2012年

(病原微生物検出情報：2012年9月13日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



手足口病からのウイルス検出速報グラフは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/1532-iasrgv.html>

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/2293-iasrgv4.html>

を参照下さい。



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

米国で発生しているハンタウイルス肺症候群について

2012年9月12日 WHO(GAR)

2012年9月12日に公表されたWHOの情報によりますと、2012年9月7日時点で、米国国立公園管理局は2012年6月以降、カリフォルニア州のヨセミテ国立公園に滞在した人の中で、ハンタウイルス肺症候群(HPS)の患者8人を報告しています。このうち、3人が死亡し、5人は回復しています。

公園当局は、2012年6月10日から8月24日の間にヨセミテ公園を訪れ、カーリー(Curry)村の宿泊施設または、ハイシエラキャンプ(High Sierra Camps)に一晩滞在した人々で、HPSのいずれかの症状があらわれた場合には、速やかに医師の診察を受けるよう、助言を始めています。

米国では、ハンタウイルス肺症候群のヒトからヒトへの感染は報告されていません。

調査によると、患者の8人中7人がカーリー村の宿泊施設に関連があり、その中の1人が7月にハイシエラキャンプの数箇所に滞在したことがわかりました。ハイシエラキャンプはカーリー村とは別の場所です。

ハンタウイルス肺症候群感染症を治療する特定の治療法はありません。感染者の早期発見と治療によって、病気の進行を軽減することができます。初期症状に、だるさ、発熱、寒気、筋肉痛があります。患者の50%は頭痛、吐き気、嘔吐、めまい、腹痛を経験します。病態は急速に進行し(初期症状から4日~ 10日後) 咳、息切れ、重度の呼吸困難を伴います。

HPSの早い段階で受診することによって、生存の可能性が大幅に高くなります。そのため、ヨセミテ国立公園を最近訪問した人で、上記のいずれかの症状がみられた場合、すぐに病院で診察を受け、ハンタウイルスへの感染の可能性について、助言を受けることが推奨されています。

公園当局は、新たな患者の発見やハンタウイルスとHPSについて公衆衛生意識を高めるために、疾病管理予防センター(CDC)やカリフォルニア州公衆衛生局、他の州の保健局とともに対応を継続しています。

インフルエンザ - 更新168

2012年9月14日 WHO

【要約】

- ・北半球の温帯地域のほとんどの国では、シーズンオフのサーベイランススケジュールに移行したか、季節性の報告を始めていません。しかし、利用できるデータからは、北半球の温帯地域では季節性のインフルエンザの伝播は、まだ、探知されていません。
- ・米国では、引き続き、人のインフルエンザA(H3N2)の新規感染者が報告されており、また、インフルエンザA(H1N2)の感染者3人が報告されました。感染者の周囲の調査によれば、持続的な人 - 人感染が起きている証拠はありません。
- ・熱帯地域のほとんどの国では、インフルエンザの検出は低いか減少傾向にあると報告されています。アメリカ大陸では、ニカラグアは例外で、主にインフルエンザB型が検出されています。また、アジアでは、インドとタイは例外で、両国ともインフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型の流行が報告されています。
- ・南半球の温帯地域のほとんどの国ではインフルエンザの活動性が減少しています。オーストラリア、チリ、ニュージーランド、パラグアイ、南アフリカでは、インフルエンザの指標が減少し続けています。アルゼンチンは、今年、例年に比べて非常に少ない検出数が続いています。

【北半球の温帯地域】

北半球の温帯地域でのインフルエンザの伝播を報告しているすべての国で、インフルエンザの伝播は最小で、シーズンオフの水準です。

米国では、豚由来のインフルエンザA(H3N2)vウイルスに感染した確定患者が報告され続けています。新たな患者は、主に、農業フェアや、報告された患者の周囲での積極的な患者発見の結果、発見されました。16人が入院し、インフルエンザA(H3N2)vに関連した基礎疾患を有していた死亡者が1人報告されました。患者の大部分は、豚との接触に関連していますが、数人は、限られた人-人感染で感染したことが確認されています。サーベイランスが強化されていますが、持続的な人-人感染は確認されていません。インフルエンザA(H3N2)vのサーベイランスを強化した結果、ミネソタ州で、豚に接触した後、体調を崩したインフルエンザA(H1N2)vの感染者が3人報告されました。患者のうち、1人は入院しましたが、いずれの患者も回復しています。さらに詳しい情報は、CDCのホームページに掲載されています。

オランダでは、スペインから帰国した2人の渡航者から、オセルタミビルに高度の耐性を持つ、変異をしたインフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスが検出されました。さらに詳しい情報はユーロサーベイランスと欧州疾病予防管理センターのホームページに掲載されています。

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域

中米、カリブ海諸国、南米の熱帯地域のインフルエンザの活動性を報告している国では、引き続き、インフルエンザの伝播が低い水準にあると報告されています。

中米では、主に、インフルエンザB型ウイルスが検出されています。

コスタリカとエルサルバドルでは、インフルエンザB型ウイルスが低い水準で検出され続けていますが、ホンジュラスでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09が低い水準で検出されていると報告されています。パナマでは、8月中旬以降、インフルエンザB型の検出が持続的に減少していると報告されており、インフルエンザのシーズンが終わったことを示しています。一方、ニカラグアでは、過去2週間で、インフルエンザB型ウイルスとインフルエンザA(H3N2)vウイルスの検出が著しく増加したと報告されました。

カリブ海諸国では、キューバで、依然としてインフルエンザB型ウイルスの活動性が持続していると報告されています。

南米の熱帯地域では、最近のインフルエンザの伝播は、主に、ブラジルとペルーで、報告されています。

ブラジルでは、インフルエンザの活動性は、減少し続けていると報告されています。今年、重症急性呼吸器感染症(SARI)の患者の22%(16,373人中3,541人)からインフルエンザウイルスが検出され、そのうちの69%(3,541人中2,459人)はインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。また、SARIで死亡した患者は1,349人と報告されていますが、そのうちの378人(28%)でインフルエンザが検出されました。インフルエンザが検出されたSARIで死亡した患者のうち、316人(84%)がインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。SARIで死亡した患者の51%(1,349人中638人)は、男性で、年齢の中央値は46歳(年齢幅は0歳から99歳)でした。また、SARIで死亡した患者の60%で、少なくとも1つ以上の合併症が記録されていました。

ペルーでは、ブラジルとは対照的に、最近数週間、主にインフルエンザB型が検出されていますが、低い水準であり、減少していると報告されています。

・ サハラ以南のアフリカ

インフルエンザのデータを報告しているサハラ以南のアフリカの国では、ケニアとザンビアで、最近、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型が低い水準で流行していると報告されています。ガーナでは、著明なインフルエンザの流行を報告しており、主にインフルエンザB型が流行しています。マダガスカルでは、6月中旬にインフルエンザA(H3N2)の伝播のピークに達した後、減少し続けています。

・ アジアの熱帯地域

アジアの熱帯地域では数か国で、最近、インフルエンザウイルスの流行が著しく、特に、タイで著しい流行がみられています。

タイでは、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型が流行しており、インフルエンザA(H3N2)も少数報告されています。ベトナムでのウイルス伝播は、過去2か月間にピークに達した後、減少しており、インフルエンザB型とインフルエンザA(H3N2)が検出されていると報告されています。

インド、スリランカ、では、依然として、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がほぼ同じ割合で、検出され続けています。バングラデシュでは、主に、インフルエンザB型の活動性が続いていると報告されています。フィリピンでは、過去数か月間でインフルエンザA型とA(H3N2)の伝播のピークに達した後、インフルエンザA型の活動性がいくらかあると報告されています。

中国南部のインフルエンザの活動性は低い水準が続いています。定点機関を受診したインフルエンザ様疾患(ILI)の外来患者の割合は、最近の報告週で2.7%であり、前週と同様でした。検査されたILI患者の検体のうち、19.3%(976検体中188検体)がインフルエンザ陽性でした。そのうちの91.2%(188検体中165検体)がインフルエンザA(H3N2)でした。

シンガポールでは、急性呼吸器感染症(ARI)の活動性は減少し、過去4週間は警戒水準を下回っています。過去4週間に地域で検査されたILI患者の検体(95検体)で、インフルエンザが陽性になる頻度は、全体として37.9%でした。8月に検査された検体のうち、インフルエンザA(H3N2)が43%、インフルエンザA(H1N1)pdm09が31%、インフルエンザB型が26%を占めました。

【南半球の温帯地域】

南半球の温帯地域では、すべての国でインフルエンザの活動性が減少し続けています。

・ 南米の温帯地域

南米の南回帰線以南の地域のインフルエンザの活動性は、ピークに達したようであり、アルゼンチン、チリ、パラグアイ、ウルグアイで減少しています。

チリでは、ILI患者の受診率は人口10万人あたり7.2であり、前週(10万人あたり11.7)に比べて若干減少しており、6月下旬にピークに達した後、減少傾向が続いています。最近の報告週では、インフルエンザが陽性となった検体のうち、インフルエンザA(H3N2)が60%(70検体中42検体)、インフルエンザB型が26%(70検体中18検体)、亜型不明のインフルエンザA型が14%(70検体中10検体)でした。同時期に検査されたSARI患者の検体で、インフルエンザが陽性になった16検体のうち、インフルエンザA(H3N2)は88%(14検体)で、インフルエンザB型は12%(2検体)でした。この結果は、SARI患者におけるインフルエンザウイルスの検出数は、8月上旬にピークに達した後、減少していることを示しています。今年の初めから、インフルエンザA(H3N2)は、主に

60歳以上の高齢者と2歳未満の小児で発生しており、すべてのインフルエンザA(H3N2)患者のうち、37%が60歳以上の高齢者で、24%が2歳未満の小児でした。今年報告されたSARIによる死亡92人のうち、呼吸器感染症を起こすウイルスが確定されたのは14人で、そのうち64%(9人)がインフルエンザA(H3N2)でした。

アルゼンチンでは、依然として、インフルエンザウイルスの検出数は非常に少数であると報告されています。インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がともに検出されています。ILI患者とSARI患者数は、6月第1週以降、減少傾向が続いており、RSウイルスの検出数の減少に一致しています。

パラグアイでは、インフルエンザの検出数は7月中旬にピークに達した後、ほとんど検出されない水準に減少しました。SARIによる入院率も、8月上旬以降、減少し続けており、RSウイルス検出数の減少に一致しています。今年、呼吸器感染症を起こすウイルスが確認されたSARIによる死亡者(30人)のうち、18人(60%)がインフルエンザA(H1N1)pdm09と確定されました。

ウルグアイでは、7月上旬にインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型がともに流行した後、ウイルスの検出は、ほとんど検出されない水準に減少しました。

・南アフリカの温帯地域

南アフリカでは、インフルエンザウイルスの検出数は、7月下旬に明らかなピークがみられた後、過去2週間、減少しています。インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型がともに流行した状態が続いており、ほぼ同じ割合で検出されています。インフルエンザが陽性になったSARI患者の検体のうち、多くはインフルエンザA(H3N2)ウイルスでした。

・オセアニア、メラネシア、ポリネシア

オーストラリアでは、最近の報告週で、インフルエンザの指標のほとんどが減少し続けていると報告されています。ニュージーランドでは、ILI患者の受診が減少しており、7月下旬以降、初めて人口10万人あたり50人という流行閾値を下回ったと報告されています。オーストラリアでは、8月26日から9月1日の報告週に、ILI患者の検体が936検体集められ、そのうち24%(220検体)でインフルエンザウイルスが陽性であり、前週(32%)に比べて減少しました。亜型が解析されたインフルエンザのうち、59%(129検体)がインフルエンザA(H3N2)で、40%(87検体)がインフルエンザB型、1%(3検体)がインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。

オーストラリアでは、ほとんどすべての地域で、前週に比べてインフルエンザの活動性が減少していると報告されており、過去4週間、減少が続いています。全国では、9月1日から9月8日の間にインフルエンザと確定されたのは684人でした。確定患者の74%はクイーンズランド州から報告されています。クイーンズランド州では、インフルエンザの活動性が6月上旬以降、初めて減少したと報告されています。全国で、最近の報告週は、インフルエンザの活動性が減少傾向であると報告されています。

国全体では、インフルエンザA(H3N2)が優勢で、インフルエンザB型も流行しています。しかし、型や亜型の分布は、地域によって異なります。ほとんどの地域では、インフルエンザA(H3N2)が優勢ですが、西オーストラリア州ではインフルエンザB型が約半数を占めています。

ニュージーランドでは、ILI患者の受診率は減少し続けており、現在は、流行閾値を下回っています。1週間のILI受診率は、人口10万人あたり36.7と報告されています。

国全体で、ILI患者の検体が391検体集められ、そのうち29%(113検体)でインフルエンザウイルスが陽性でした。そのうち、インフルエンザA(H3N2)が62%(70検体)、インフルエンザA型で

亜型不明が21%(24検体)、インフルエンザB型が13%(15検体)、インフルエンザA(H1N1)pdm09が4%(4検体)でした。

ニュージーランドでは、SARIの患者数と人口10万人あたりのSARI患者の発生率は減少しています。今年8月27日から9月2日までの間にSHIVERS(南半球のインフルエンザとワクチンの効果の研究、サーベイランスの計画)によって検査されたSARI患者の55検体のうち、13検体(24%)がインフルエンザウイルス陽性で、そのうちインフルエンザA型で亜型不明が15%(2検体)、インフルエンザA(H3N2)が54%(7検体)、インフルエンザB型が31%(4検体)でした。今年4月30日以降に採取されたSARI患者の1,410検体のうち、22%(311検体)がインフルエンザ陽性でした。

[コンゴ民主共和国でエボラ出血熱が発生しています\(更新5\)](#)

2012年9月14日 WHO(GAR)

2012年9月14日に公表されたWHOの情報によりますと、コンゴ民主共和国保健省は、新たにエボラ出血熱の確定患者と可能性の高い患者を報告しました。

2012年9月12日時点で、オリエンタル(Orientale)州のオー・ウエレ(Haut Uélé)ではエボラ出血熱の患者41人(確定患者は9人、可能性の高い患者は32人)が報告されています。このうち、18人(確定患者は5人、可能性の高い患者は13人)が死亡しています。可能性の高い患者の18人は、医療従事者です。また、28人の疑い患者が報告され、調査されています。

前回の更新内容から、調査の結果、イシロ(Isiro)とピアダーナ(Viadana)の2地域より、27人(確定患者1人、可能性の高い患者26人)が加えられました。

現地では、感染や流行を阻止するための対策や調査が継続されています。

WHOはコンゴ民主共和国への渡航や貿易を制限することを推奨していません。

[コンゴ民主共和国でエボラ出血熱が発生しています\(更新6\)](#)

2012年9月18日 WHO(GAR)

2012年9月18日に公表されたWHOの情報によりますと、コンゴ民主共和国では、2012年9月15日時点で、エボラ出血熱の患者46人(確定患者は14人、可能性の高い患者は32人)が報告されています。このうち、19人(確定患者は6人、可能性の高い患者は13人)が死亡しています。

患者は、オリエンタル(Orientale)州のオー・ウエレ(Haut Uélé)のイシロ(Isiro)とピアダーナ(Viadana)の2地域より報告されています。また、26人の疑い患者が報告され、調査されています。

現地では、感染や流行を阻止するための対策や調査が継続されています。

WHOはコンゴ民主共和国への渡航や貿易を制限することを推奨していません。

[シエラレオネでコレラが流行しています\(更新5\)](#)

2012年9月18日 WHO(GAR)

2012年9月18日に公表されたWHOの情報によりますと、シエラレオネでは、9月16日時点で、今年初めから、合計18,508人のコレラ患者が発生しており、そのうち271人が死亡したと報告されています(致死率は1.5%)。

患者が最も多く報告されているのは、首都フリータウンのある国の西部地域です。

保健衛生省では今年初めから発生しているコレラの流行への対応を強化するために、国内外レベルで関係機関と密接に対応にあたっています。現場レベルで実施されている活動には、患者管理、広報、社会的動員、水・保健衛生の啓発、サーベイランスとデータの管理が含まれています。

死亡者を減らすために、地区レベルで患者の早期発見と迅速な治療に重点がおかれています。コレラ患者はコレラ治療ユニットで管理され、コレラ治療ユニットが設置されていない場所では、隔離するために保健施設内の指定された場所で管理することに力を入れています。

国レベルでは、コレラ対策センター(Cholera Control and Command Centre)が技術的な助言、調整、そして発生の監視を継続しています。コレラ対策センターは、この流行をできる限り早期に抑えるため、「コレラへの準備及び対応に関する運用計画(Cholera Preparedness and Response Operation Plan(CPROP))」に基づいて行う活動を実施するために設置されました。コレラ対策センターは、対策本部が意志決定する際の情報提供も行っています。

WHOと関係機関は、この発生に対応するために、保健省を支援しています。患者管理と検査室診断に従事する医療従事者と検査技師の能力向上のため、Global Outbreak Alert and Response Network(GOARN)を通じて、バングラデシュの国際下痢性疾患研究センター(ICDDR,B)から、国際的なコレラ対策の経験を有する患者管理と検査の専門家を派遣しました。

WHOはシエラレオネへの渡航や貿易を制限することを推奨していません。

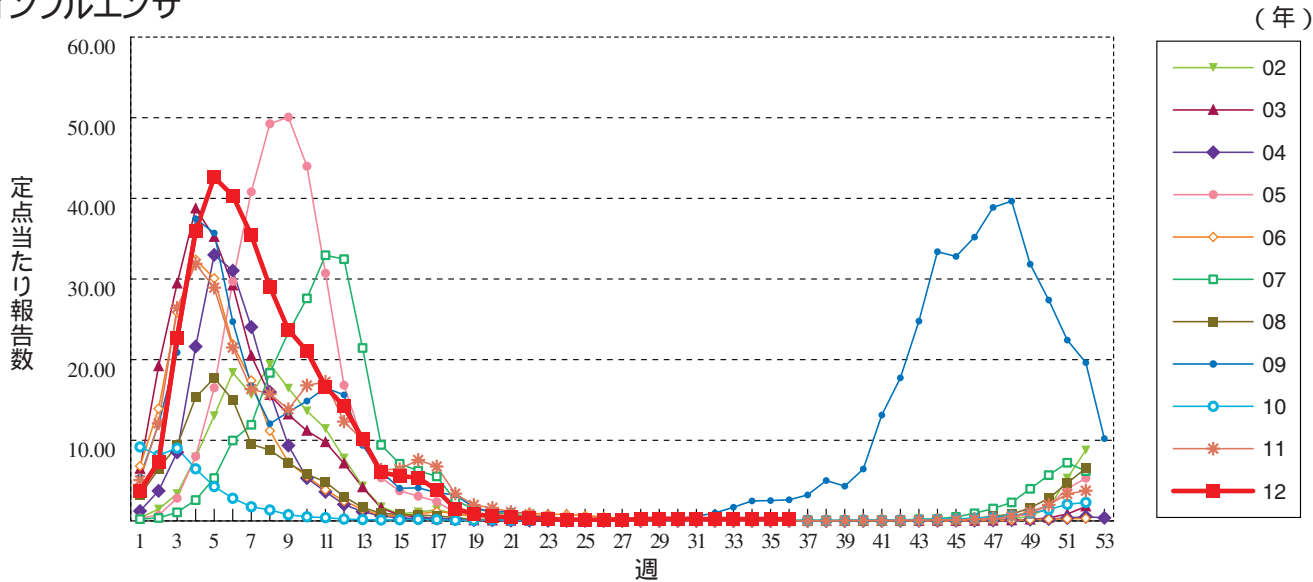


感染症の話

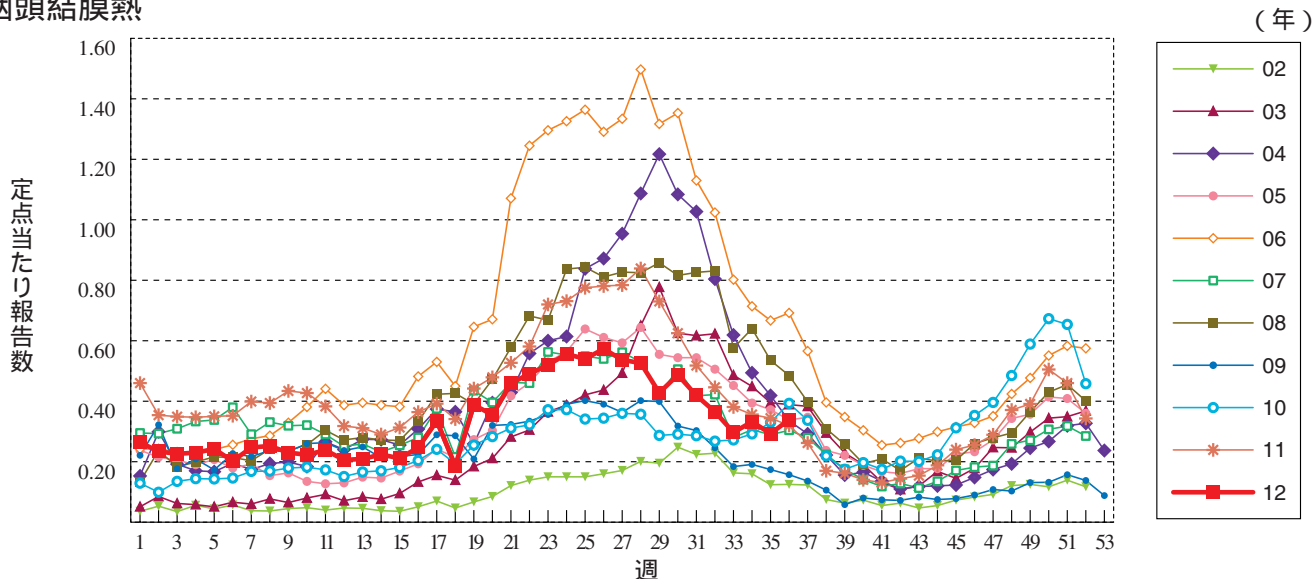
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(36週)

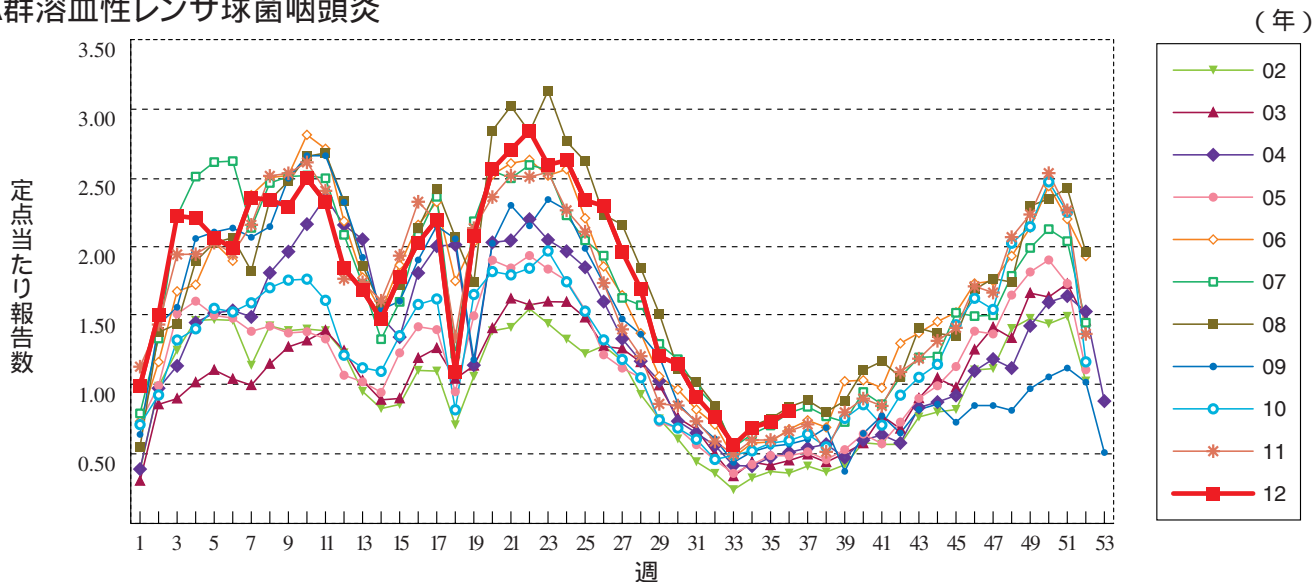
インフルエンザ



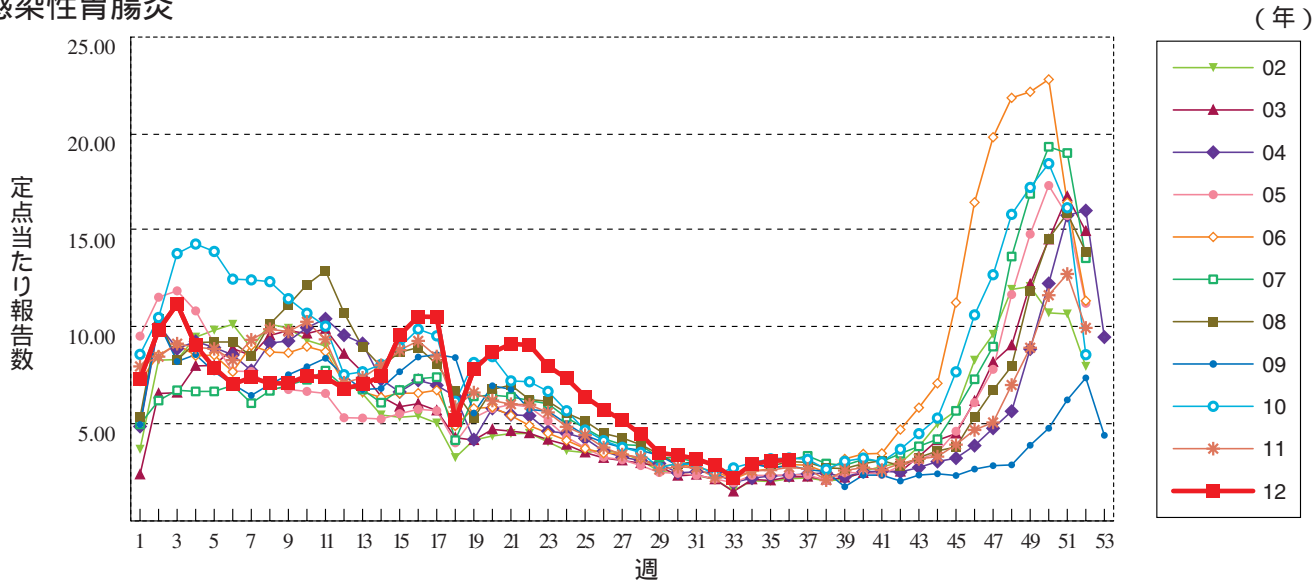
咽頭結膜熱



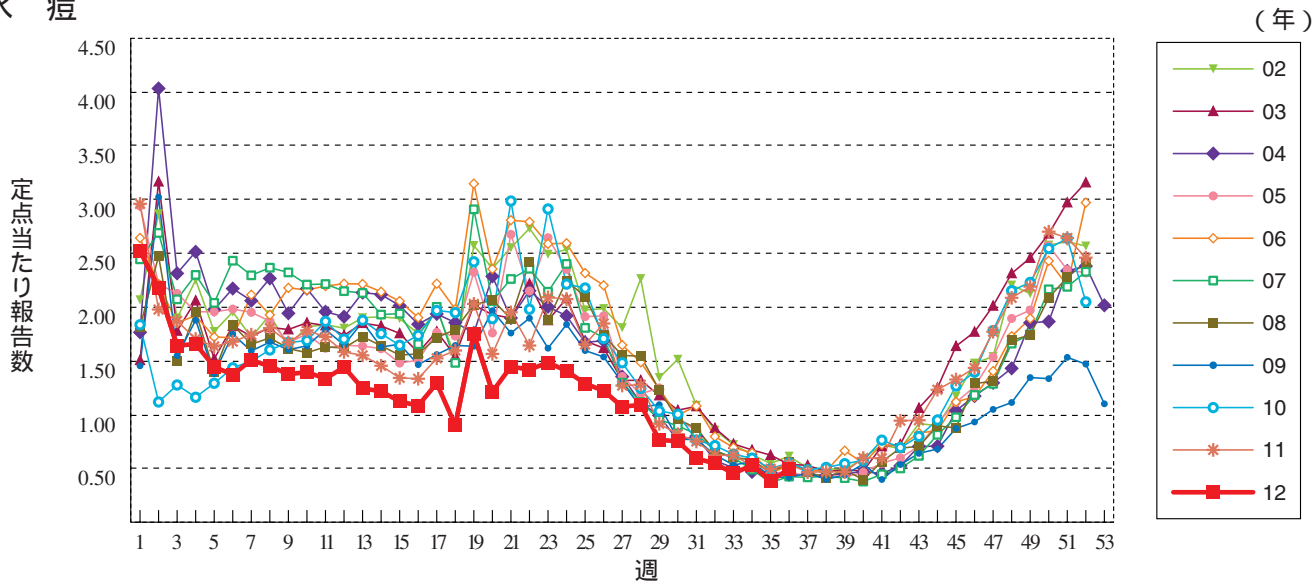
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



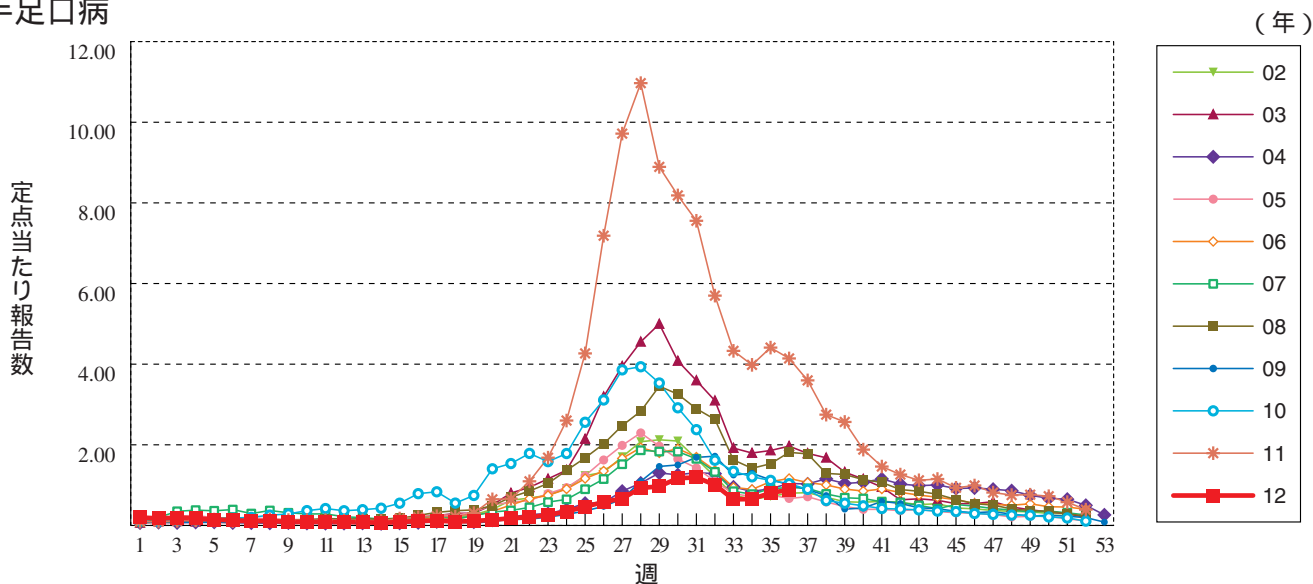
感染性胃腸炎



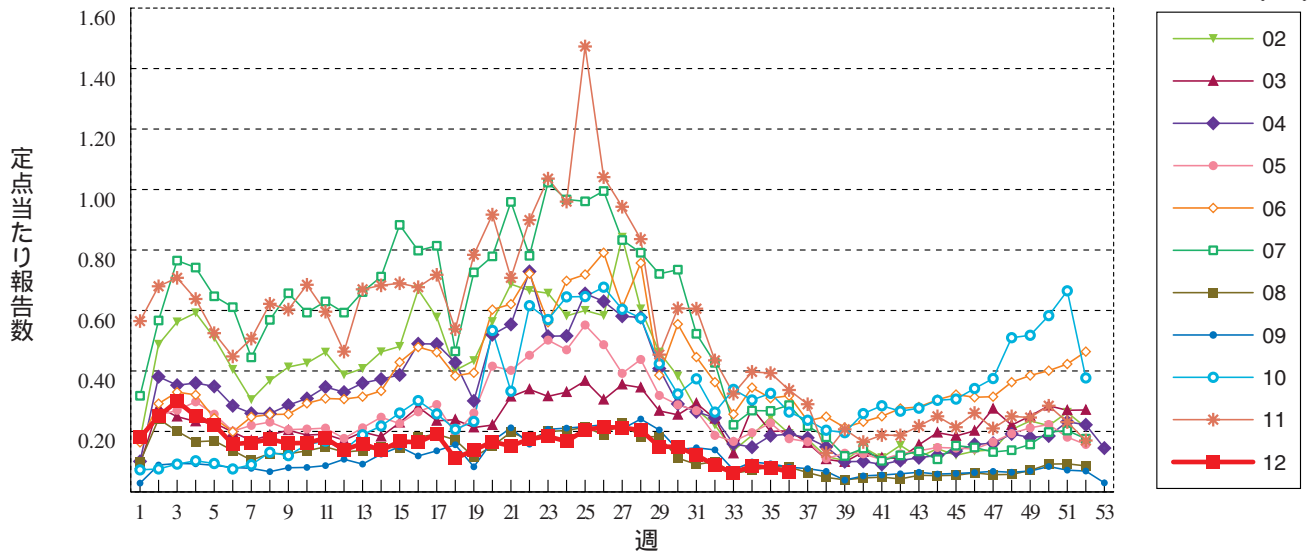
水痘



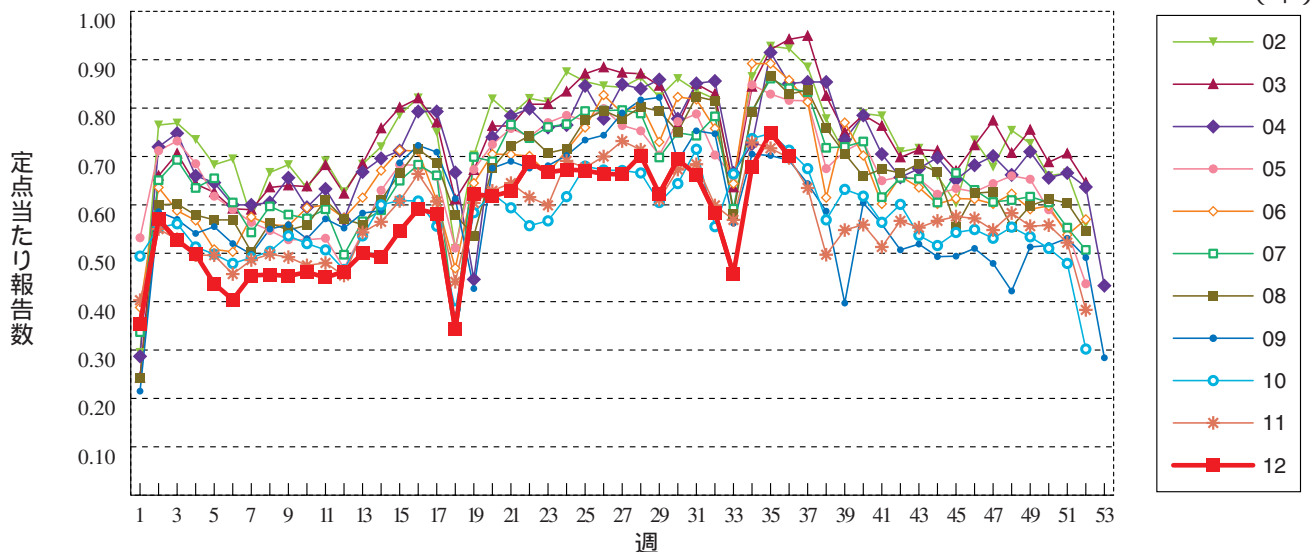
手足口病



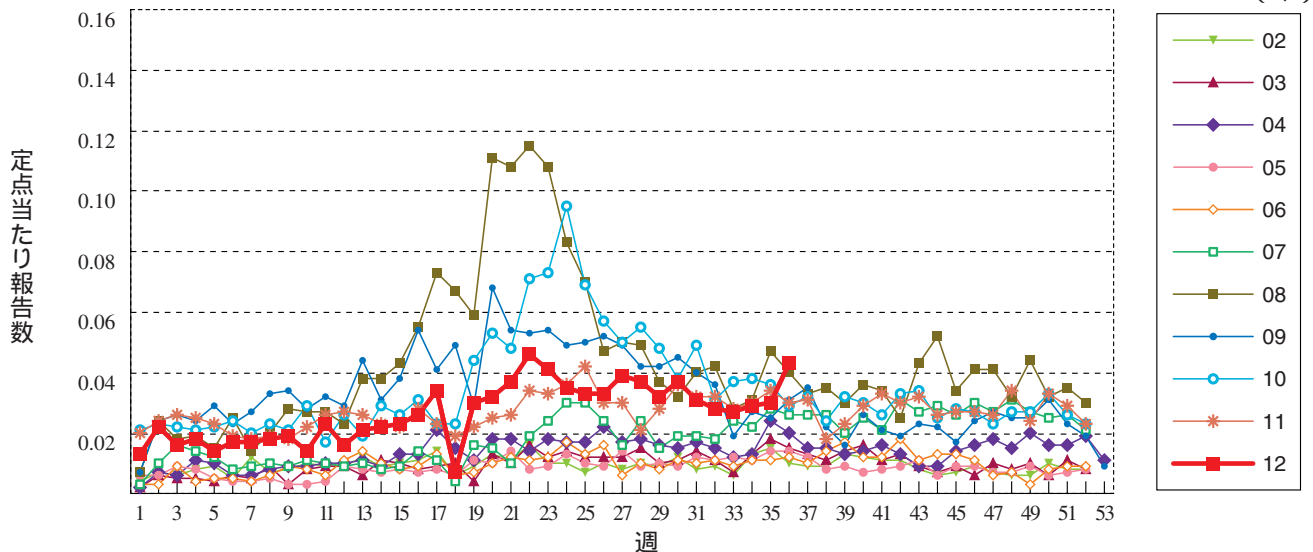
伝染性紅斑



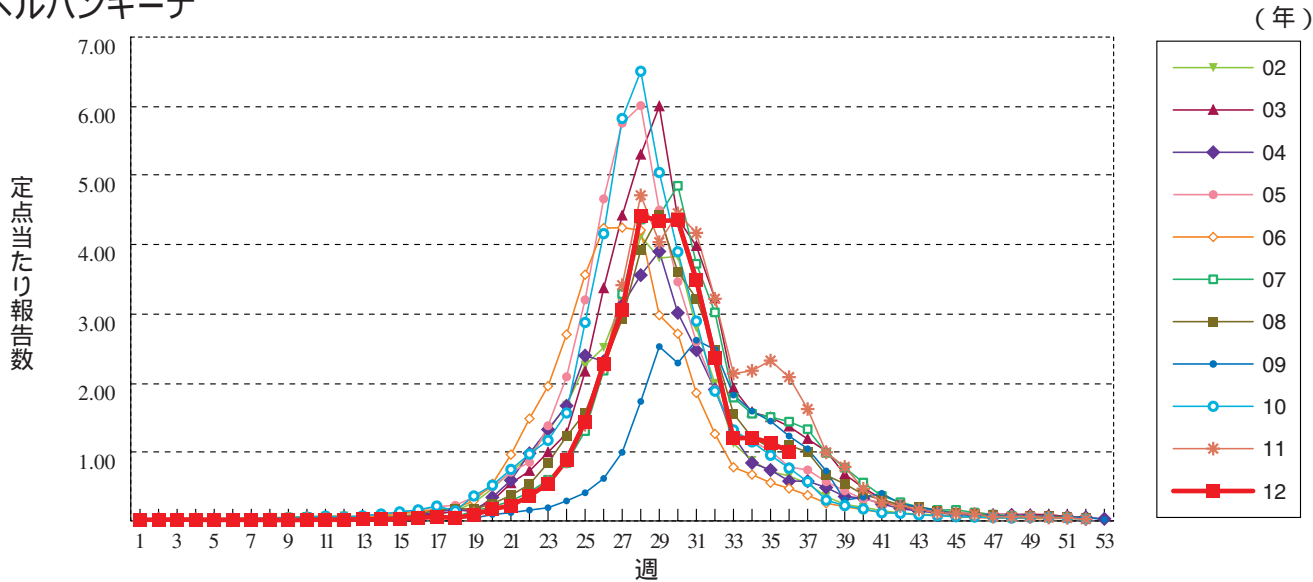
突発性発しん



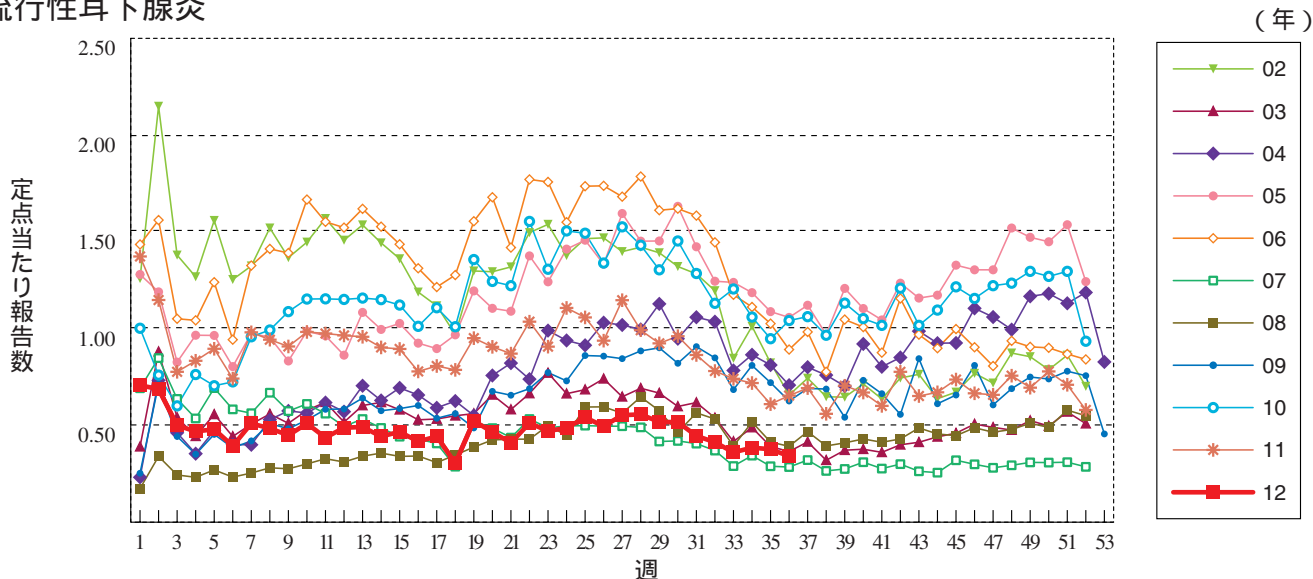
百日咳



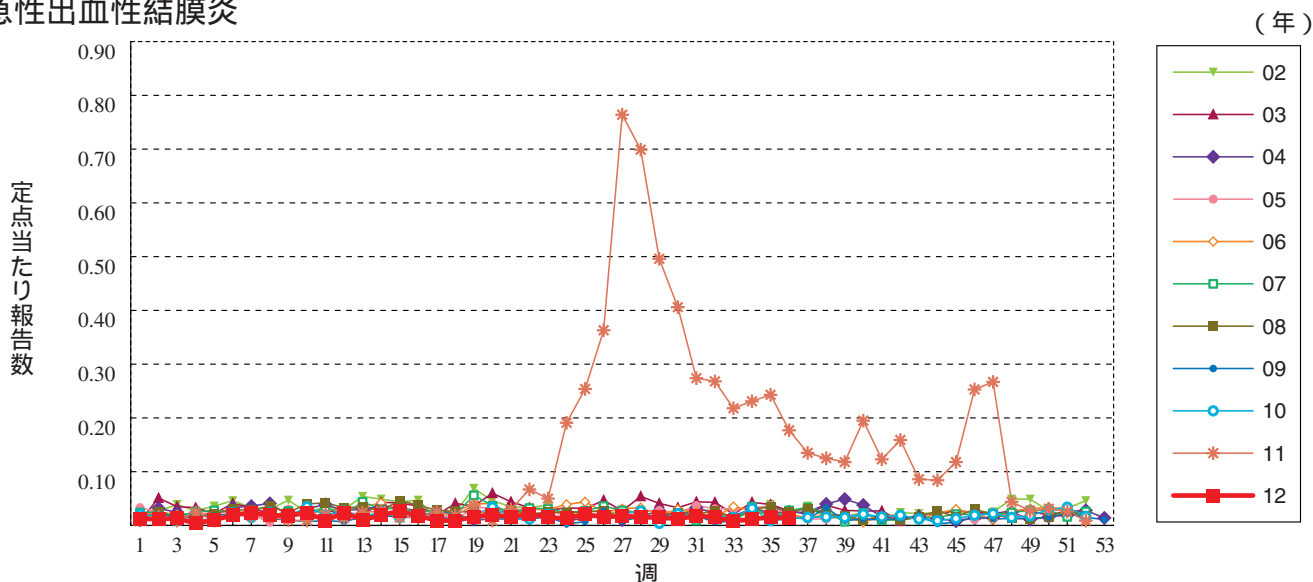
ヘルパンギーナ



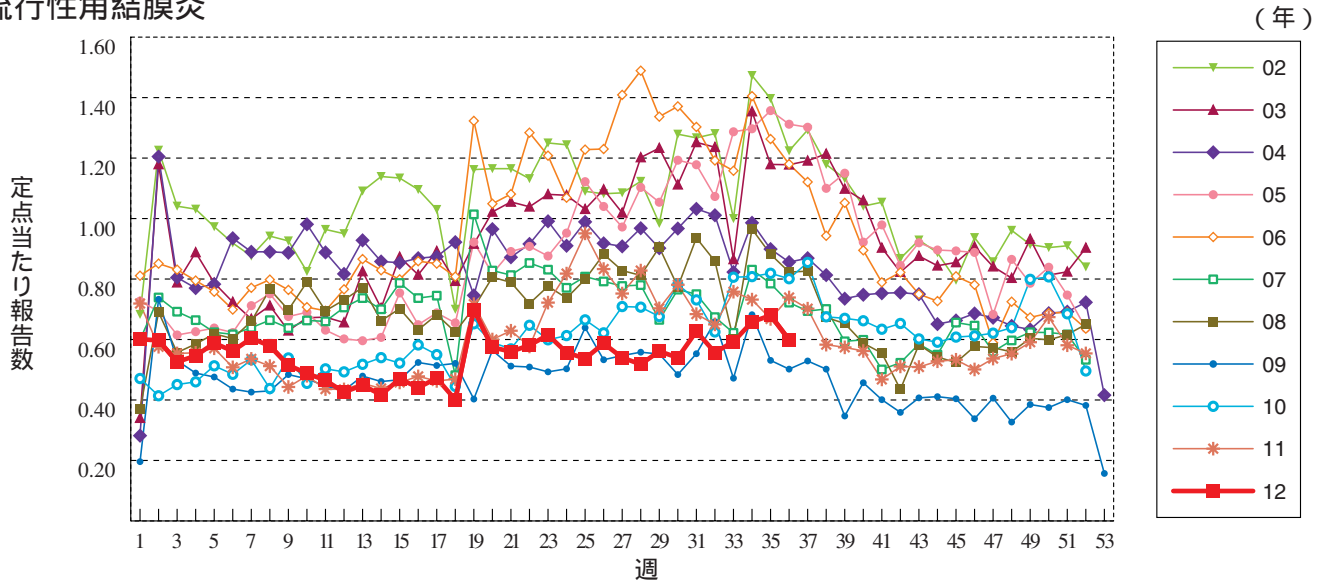
流行性耳下腺炎



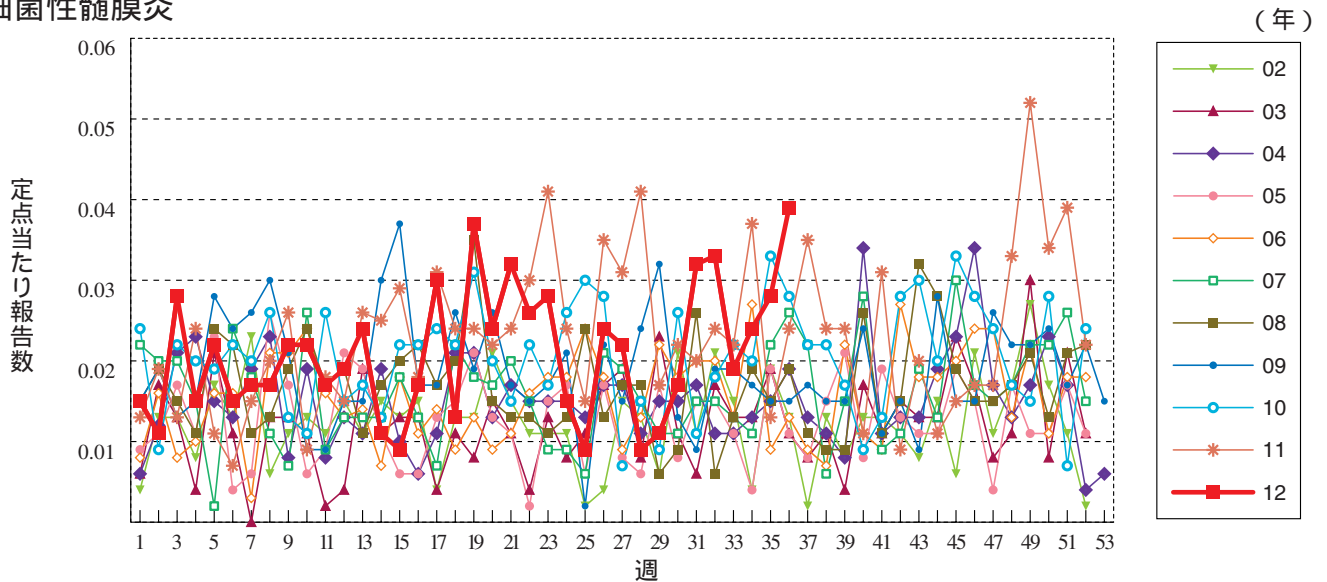
急性出血性結膜炎



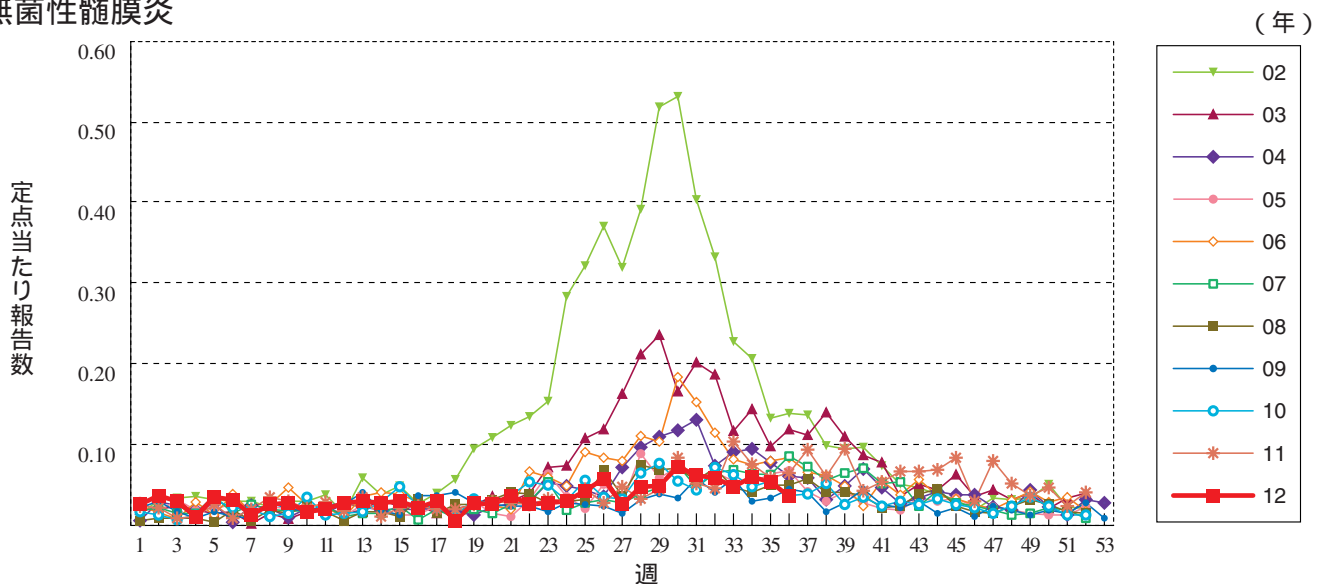
流行性角結膜炎



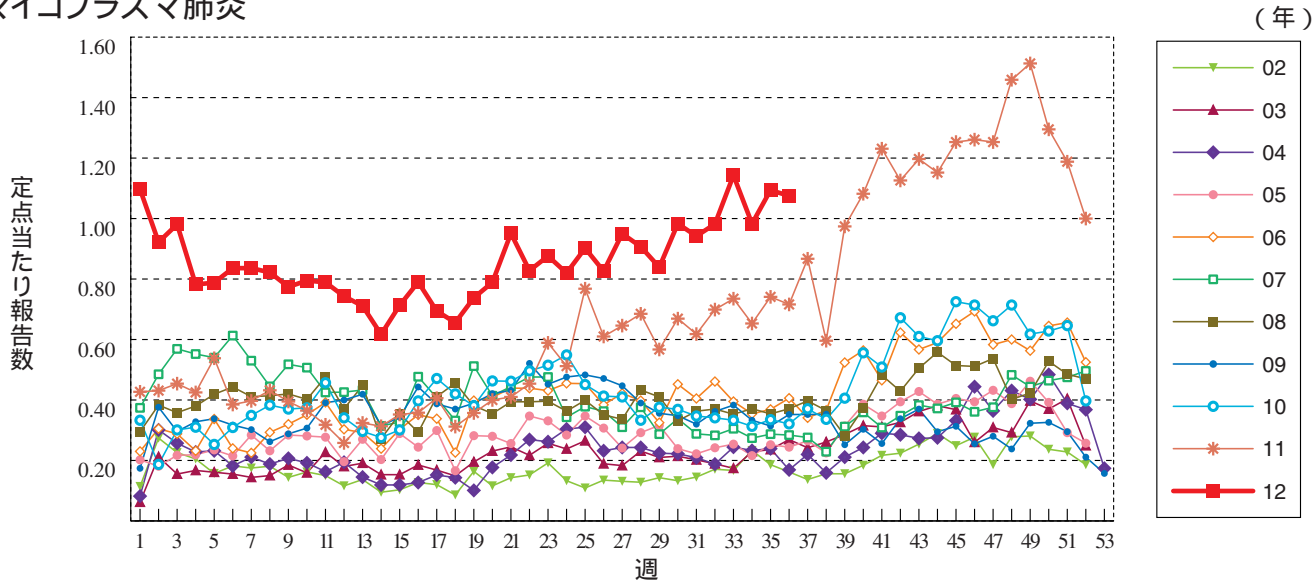
細菌性髄膜炎



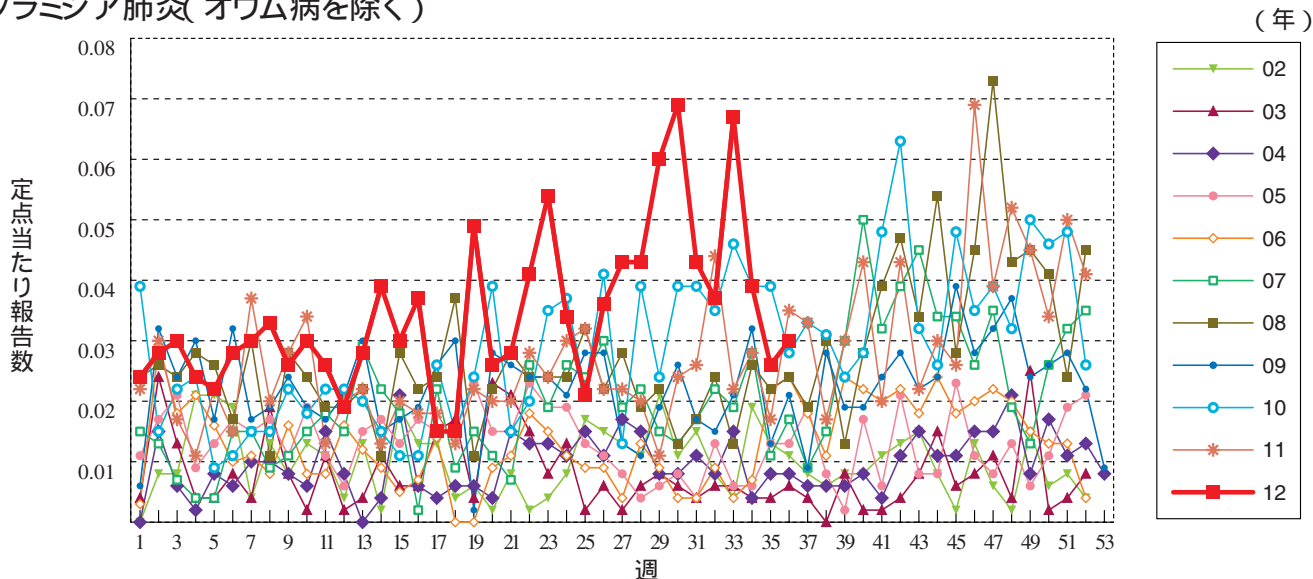
無菌性髄膜炎



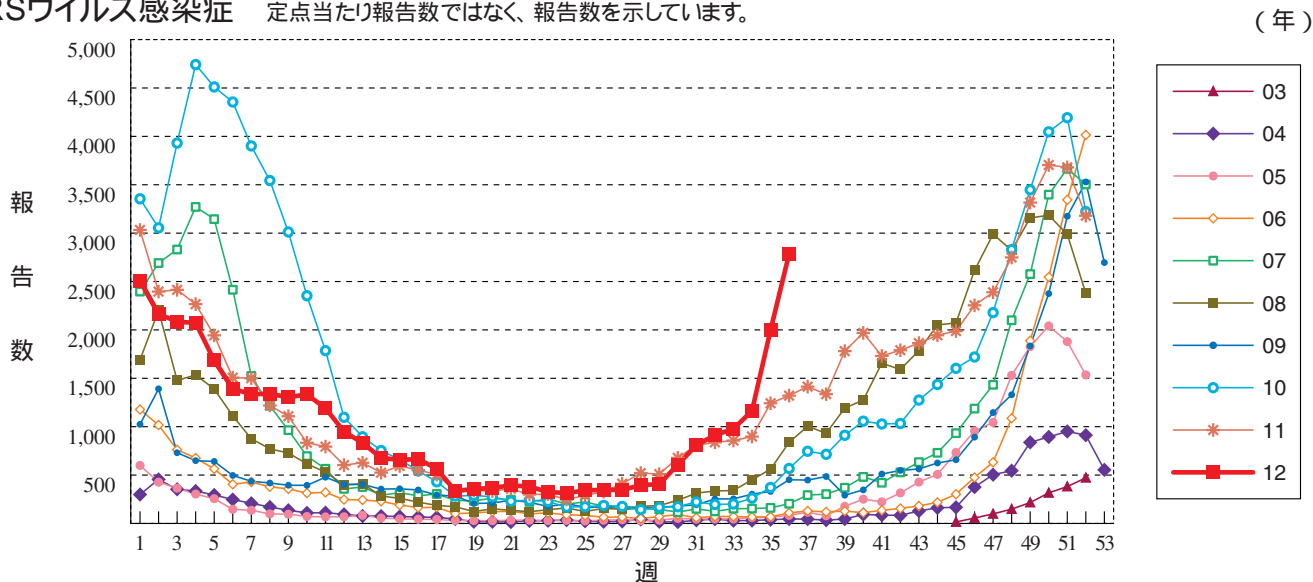
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





36週のデータ

注) 表中の報告数は9月12日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年36週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	404	20039
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	601
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	300
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	201
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	260
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	145
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	133
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	181
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	421
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	242
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	184
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	918
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	946
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71	3131
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	1476
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	232
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	156
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	143
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	121
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	234
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	346
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	435
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	1345
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	248
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	198
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	525
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	1186
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	715
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	265
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	245
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	178
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	314
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	476
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	284
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	169
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	128
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	164
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	859
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	114
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	279
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	298
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	235
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	168
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	277
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	295

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年36週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	3	3	146	124	2576	3	22	1	14	2	88	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	273	-	-	-	-	-	33	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	28	-	-	-	-	-	1	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	68	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	99	-	-	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	15	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	21	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	16	-	-	-	-	-	2	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	35	-	-	-	-	-	2	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	32	-	-	-	-	-	1	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	4	80	-	1	-	1	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	10	77	-	-	-	-	-	2	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	50	8	157	1	7	1	6	-	11
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	7	7	101	1	5	-	2	-	3	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	21	-	-	-	-	-	2	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	16	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	13	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	89	-	-	-	-	1	3	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	49	1	1	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	24	-	1	-	-	-	3	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	7	115	-	2	-	-	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	47	-	-	-	-	-	12	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	42	-	-	-	1	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	27	6	219	-	1	-	4	-	4	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	64	-	1	-	-	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	139	-	1	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	53	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	42	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	171	-	2	-	-	1	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	68	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	9	-	-	-	-	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	51	-	-	-	-	-	2	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	14	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	57	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	89	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年36週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	123	-	8	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	9	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年36週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	196
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年36週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	12	130	-	-	-	-	-	-	6	80	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	10	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	3	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	6	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年36週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	55	-	-	1	9	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	17	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年36週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	11	562	1	11	-	-	15	602	-	145	1	272	-	6
北海道	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	18	-	5	-	12	-	-
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
福島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	7	-	1	-	19	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	4	-	1	-	4	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-
埼玉県	-	-	-	-	3	32	-	1	-	-	2	31	-	5	-	12	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	32	-	3	-	43	-	-
東京都	-	-	-	-	2	41	-	4	-	-	6	124	-	32	-	22	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	37	-	1	-	-	1	56	-	2	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	7	-	1	-	11	-	-
富山県	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	5	-	3	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	5	-	2	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	17	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	19	-	2	-	15	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	1	38	-	8	-	9	-	1
三重県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	10	-	2	-	2	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-
京都府	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	14	-	6	-	8	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	29	1	1	-	-	2	53	-	17	-	19	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	1	22	-	9	-	9	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	10	-	4	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	1	13	-	8	-	13	-	-
山口県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	10	-	1	-	3	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	1	2	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	28	-	12	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	7	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	2	-	7	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	2	1	5	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年36週

	クローンツェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	124	1	176	9	947	-	46	-	9	-	-	12	588	3	76	-	-
北海道	-	7	-	9	-	20	-	1	-	-	-	-	-	17	-	7	-	-
青森県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	3	-	9	-	1	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
福島県	-	1	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	3	-	3	-	21	-	2	-	-	-	-	-	18	-	3	-	-
栃木県	-	6	-	5	1	14	-	-	-	-	-	-	-	10	1	2	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	8	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	4	-	29	-	-	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-
千葉県	-	4	-	11	1	35	-	-	-	-	-	-	-	19	-	4	-	-
東京都	2	11	-	15	4	307	-	10	-	-	-	-	4	194	-	2	-	-
神奈川県	-	5	1	7	-	48	-	2	-	2	-	-	-	29	-	5	-	-
新潟県	-	5	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
富山県	-	1	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
石川県	-	4	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
福井県	-	1	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	1	-	2	-	11	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
静岡県	-	3	-	3	-	18	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-
愛知県	-	7	-	8	-	86	-	1	-	1	-	-	2	25	-	3	-	-
三重県	-	1	-	4	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	3	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	7	-	8	-	7	-	1	-	1	-	-	-	8	-	2	-	-
大阪府	1	5	-	3	2	113	-	7	-	-	-	-	5	77	-	1	-	-
兵庫県	-	5	-	4	-	31	-	6	-	1	-	-	-	14	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
鳥取県	-	2	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
島根県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
広島県	-	1	-	2	-	16	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-
山口県	-	1	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	2	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	6	-	7	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-
高知県	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
福岡県	1	5	-	14	1	29	-	2	-	2	-	-	-	23	-	4	-	-
佐賀県	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
熊本県	-	3	-	10	-	5	-	-	-	1	-	-	-	10	-	4	-	-
大分県	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	1	3	-	-
鹿児島県	-	2	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
沖縄県	-	3	-	1	-	16	-	2	-	1	-	-	-	8	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2012年36週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	64	72	1521	12	251
北海道	-	-	-	8	-	1
青森県	-	1	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	2
宮城県	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	-	-	3	-	1
山形県	-	-	-	4	-	-
福島県	-	1	-	4	-	7
茨城県	-	-	-	11	-	-
栃木県	-	-	-	4	-	10
群馬県	1	2	-	10	-	-
埼玉県	1	5	3	62	3	30
千葉県	-	5	3	65	1	18
東京都	-	6	21	352	1	65
神奈川県	-	4	10	137	5	25
新潟県	-	1	-	5	-	2
富山県	-	-	-	1	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	8	-	-
山梨県	-	1	-	8	-	3
長野県	-	-	-	10	-	-
岐阜県	-	2	-	3	-	5
静岡県	-	2	-	11	-	2
愛知県	-	3	1	59	-	36
三重県	-	1	5	33	-	1
滋賀県	-	-	-	12	-	1
京都府	-	2	-	30	-	1
大阪府	-	10	16	303	-	4
兵庫県	-	1	7	245	-	16
奈良県	-	-	-	13	-	-
和歌山県	-	-	1	8	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	1	-	6	-	6
広島県	-	2	-	9	-	7
山口県	-	-	1	3	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	3	-	2	-	1
高知県	-	-	1	2	-	-
福岡県	-	4	3	25	-	1
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	1	-	1	-	1
熊本県	-	5	-	3	-	-
大分県	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	2	3
鹿児島県	-	-	-	4	-	1
沖縄県	-	1	-	43	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年36週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	979	0.20	1063	0.34	2545	0.81	9900	3.15	1555	0.50	2784	0.89	209	0.07	2202	0.70	135	0.04
北海道	1	0.00	29	0.20	195	1.36	205	1.43	62	0.43	307	2.15	4	0.03	89	0.62	8	0.06
青森県	-	-	-	-	14	0.34	35	0.85	7	0.17	176	4.29	5	0.12	26	0.63	-	-
岩手県	-	-	9	0.23	17	0.43	90	2.25	14	0.35	186	4.65	10	0.25	16	0.40	4	0.10
宮城県	-	-	8	0.14	57	0.98	218	3.76	11	0.19	252	4.34	7	0.12	42	0.72	1	0.02
秋田県	6	0.11	11	0.31	28	0.80	115	3.29	7	0.20	104	2.97	2	0.06	14	0.40	-	-
山形県	-	-	31	1.03	33	1.10	91	3.03	21	0.70	128	4.27	-	-	27	0.90	-	-
福島県	13	0.16	6	0.13	35	0.73	101	2.10	27	0.56	110	2.29	2	0.04	27	0.56	4	0.08
茨城県	1	0.01	22	0.29	47	0.63	157	2.09	25	0.33	46	0.61	-	-	26	0.35	4	0.05
栃木県	-	-	8	0.17	22	0.46	49	1.02	26	0.54	32	0.67	3	0.06	35	0.73	3	0.06
群馬県	4	0.04	24	0.40	46	0.77	203	3.38	29	0.48	34	0.57	3	0.05	36	0.60	6	0.10
埼玉県	5	0.02	59	0.38	143	0.92	549	3.54	55	0.35	96	0.62	9	0.06	124	0.80	3	0.02
千葉県	5	0.02	25	0.19	124	0.95	384	2.93	45	0.34	50	0.38	10	0.08	78	0.60	12	0.09
東京都	43	0.10	115	0.44	242	0.93	935	3.60	114	0.44	154	0.59	20	0.08	233	0.90	9	0.03
神奈川県	15	0.05	68	0.34	127	0.64	546	2.76	104	0.53	176	0.89	15	0.08	134	0.68	10	0.05
新潟県	1	0.01	39	0.65	47	0.78	81	1.35	43	0.72	206	3.43	4	0.07	38	0.63	3	0.05
富山県	1	0.02	11	0.38	47	1.62	108	3.72	17	0.59	18	0.62	1	0.03	18	0.62	1	0.03
石川県	3	0.06	5	0.17	25	0.86	90	3.10	23	0.79	46	1.59	-	-	17	0.59	-	-
福井県	-	-	11	0.50	27	1.23	83	3.77	19	0.86	32	1.45	1	0.05	9	0.41	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	24	1.00	53	2.21	6	0.25	15	0.63	-	-	11	0.46	1	0.04
長野県	9	0.10	8	0.15	71	1.29	187	3.40	30	0.55	55	1.00	2	0.04	25	0.45	5	0.09
岐阜県	6	0.07	31	0.58	21	0.40	146	2.75	24	0.45	9	0.17	11	0.21	31	0.58	4	0.08
静岡県	7	0.05	32	0.36	64	0.72	356	4.00	38	0.43	40	0.45	3	0.03	67	0.75	3	0.03
愛知県	3	0.02	71	0.39	113	0.63	553	3.07	77	0.43	60	0.33	12	0.07	132	0.73	5	0.03
三重県	-	-	29	0.64	32	0.71	184	4.09	15	0.33	31	0.69	1	0.02	31	0.69	-	-
滋賀県	-	-	22	0.69	18	0.56	84	2.63	15	0.47	5	0.16	-	-	22	0.69	2	0.06
京都府	-	-	14	0.19	43	0.57	176	2.35	39	0.52	14	0.19	2	0.03	33	0.44	2	0.03
大阪府	5	0.02	76	0.39	205	1.04	660	3.35	110	0.56	55	0.28	5	0.03	136	0.69	4	0.02
兵庫県	4	0.02	36	0.28	45	0.35	442	3.43	58	0.45	17	0.13	4	0.03	92	0.71	7	0.05
奈良県	3	0.08	9	0.26	10	0.29	78	2.23	10	0.29	5	0.14	6	0.17	13	0.37	1	0.03
和歌山県	-	-	6	0.19	13	0.42	46	1.48	21	0.68	12	0.39	3	0.10	16	0.52	1	0.03
鳥取県	-	-	1	0.05	20	1.05	85	4.47	12	0.63	1	0.05	-	-	10	0.53	-	-
島根県	-	-	2	0.09	10	0.43	132	5.74	12	0.52	2	0.09	-	-	18	0.78	-	-
岡山県	-	-	4	0.07	30	0.56	241	4.46	29	0.54	6	0.11	2	0.04	41	0.76	-	-
広島県	-	-	16	0.22	52	0.72	237	3.29	79	1.10	6	0.08	11	0.15	30	0.42	4	0.06
山口県	-	-	9	0.19	82	1.71	151	3.15	10	0.21	7	0.15	12	0.25	47	0.98	-	-
徳島県	-	-	12	0.52	24	1.04	75	3.26	24	1.04	10	0.43	7	0.30	17	0.74	-	-
香川県	-	-	4	0.13	7	0.23	113	3.77	25	0.83	14	0.47	-	-	20	0.67	1	0.03
愛媛県	-	-	5	0.14	40	1.08	152	4.11	24	0.65	11	0.30	10	0.27	32	0.86	-	-
高知県	-	-	8	0.27	8	0.27	55	1.83	14	0.47	5	0.17	9	0.30	15	0.50	8	0.27
福岡県	10	0.05	66	0.55	125	1.04	561	4.68	42	0.35	22	0.18	-	-	125	1.04	13	0.11
佐賀県	1	0.03	2	0.09	31	1.35	52	2.26	16	0.70	14	0.61	3	0.13	23	1.00	-	-
長崎県	10	0.14	2	0.05	21	0.48	97	2.20	32	0.73	9	0.20	3	0.07	28	0.64	-	-
熊本県	1	0.01	38	0.79	23	0.48	230	4.79	35	0.73	17	0.35	-	-	62	1.29	1	0.02
大分県	1	0.02	10	0.28	38	1.06	245	6.81	26	0.72	8	0.22	1	0.03	41	1.14	2	0.06
宮崎県	2	0.03	31	0.86	54	1.50	160	4.44	45	1.25	120	3.33	-	-	38	1.06	1	0.03
鹿児島県	130	1.40	27	0.49	29	0.53	233	4.24	20	0.36	32	0.58	2	0.04	38	0.69	-	-
沖縄県	689	11.88	10	0.29	16	0.47	76	2.24	18	0.53	29	0.85	4	0.12	19	0.56	2	0.06

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年36週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	3146	1.00	1069	0.34	9	0.01	410	0.60	18	0.04	17	0.04	501	1.08	14	0.03	2785
北海道	289	2.02	25	0.17	1	0.03	3	0.10	-	-	-	-	12	0.52	-	-	36
青森県	126	3.07	13	0.32	1	0.09	3	0.27	-	-	-	-	19	3.17	-	-	34
岩手県	86	2.15	43	1.08	-	-	5	0.36	-	-	-	-	33	1.74	-	-	16
宮城県	127	2.19	40	0.69	-	-	3	0.25	-	-	-	-	17	1.42	1	0.08	36
秋田県	84	2.40	6	0.17	-	-	3	0.43	-	-	-	-	2	0.25	-	-	32
山形県	112	3.73	19	0.63	-	-	1	0.13	-	-	-	-	8	0.80	-	-	36
福島県	20	0.42	9	0.19	-	-	5	0.42	-	-	-	-	23	3.29	1	0.14	81
茨城県	17	0.23	10	0.13	-	-	22	1.29	4	0.31	-	-	6	0.46	-	-	32
栃木県	12	0.25	13	0.27	1	0.08	11	0.92	-	-	-	-	46	6.57	3	0.43	28
群馬県	49	0.82	26	0.43	-	-	14	1.00	-	-	-	-	29	3.63	-	-	17
埼玉県	130	0.84	49	0.32	-	-	18	0.43	-	-	1	0.11	26	2.89	1	0.11	100
千葉県	76	0.58	44	0.34	-	-	17	0.52	-	-	2	0.22	16	1.78	2	0.22	81
東京都	262	1.01	56	0.22	1	0.03	31	0.82	2	0.08	3	0.12	21	0.84	-	-	317
神奈川県	188	0.95	53	0.27	1	0.02	30	0.68	-	-	-	-	2	0.25	-	-	51
新潟県	210	3.50	18	0.30	-	-	1	0.10	-	-	-	-	13	1.00	4	0.31	15
富山県	33	1.14	6	0.21	-	-	2	0.29	-	-	-	-	5	1.00	-	-	18
石川県	24	0.83	8	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00	-	-	16
福井県	24	1.09	8	0.36	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33	-	-	17
山梨県	14	0.58	4	0.17	-	-	2	0.22	1	0.10	-	-	10	1.00	1	0.10	-
長野県	125	2.27	4	0.07	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-	17	1.55	-	-	-
岐阜県	15	0.28	44	0.83	-	-	1	0.09	-	-	-	-	9	1.80	-	-	10
静岡県	56	0.63	22	0.25	-	-	19	0.86	1	0.11	-	-	12	1.33	-	-	47
愛知県	85	0.47	74	0.41	-	-	29	0.85	1	0.07	-	-	45	3.21	-	-	40
三重県	33	0.73	23	0.51	1	0.08	2	0.17	-	-	-	-	4	0.44	-	-	9
滋賀県	40	1.25	5	0.16	-	-	2	0.25	-	-	-	-	4	0.57	-	-	10
京都府	36	0.48	11	0.15	-	-	12	0.67	-	-	-	-	1	0.17	-	-	32
大阪府	138	0.70	86	0.44	-	-	17	0.33	1	0.06	2	0.12	12	0.71	-	-	174
兵庫県	119	0.92	35	0.27	-	-	10	0.29	1	0.09	2	0.18	11	1.00	-	-	29
奈良県	13	0.37	2	0.06	-	-	1	0.11	-	-	-	-	4	0.67	-	-	10
和歌山県	32	1.03	6	0.19	-	-	2	0.50	-	-	-	-	14	1.27	-	-	6
鳥取県	18	0.95	2	0.11	-	-	4	1.33	-	-	2	0.40	11	2.20	-	-	2
島根県	31	1.35	6	0.26	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.25	1	0.13	16
岡山県	55	1.02	20	0.37	-	-	6	0.50	-	-	-	-	1	0.20	-	-	13
広島県	33	0.46	15	0.21	-	-	5	0.26	2	0.10	-	-	9	0.43	-	-	103
山口県	41	0.85	27	0.56	-	-	1	0.11	1	0.11	-	-	4	0.44	-	-	104
徳島県	30	1.30	5	0.22	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	37	1.23	10	0.33	-	-	-	-	-	-	2	0.40	1	0.20	-	-	15
愛媛県	29	0.78	8	0.22	-	-	10	1.25	-	-	-	-	1	0.17	-	-	38
高知県	36	1.20	7	0.23	1	0.33	-	-	1	0.13	-	-	4	0.50	-	-	16
福岡県	59	0.49	65	0.54	-	-	8	0.31	-	-	-	-	1	0.07	-	-	479
佐賀県	14	0.61	10	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.83	-	-	38
長崎県	25	0.57	15	0.34	-	-	2	0.25	-	-	1	0.08	6	0.50	-	-	48
熊本県	43	0.90	21	0.44	1	0.11	19	2.11	-	-	1	0.07	5	0.33	-	-	82
大分県	28	0.78	44	1.22	-	-	-	-	-	-	-	-	8	0.73	-	-	69
宮崎県	55	1.53	26	0.72	-	-	10	1.67	-	-	-	-	3	0.43	-	-	285
鹿児島県	26	0.47	18	0.33	-	-	5	0.71	-	-	-	-	3	0.25	-	-	109
沖縄県	11	0.32	8	0.24	1	0.10	69	6.90	1	0.14	1	0.14	9	1.29	-	-	31

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年36週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年36週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第14巻 第36号 2012年9月24日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。